



蔵王・御釜

写真提供：宮城県観光戦略課

主な記事

新年のご挨拶

令和8年宮管新年祝賀会を開催

水と空気の未来を創造する

宮城県管工業協同組合

INFORMATION

積水化学の オール樹脂管！

耐食性・耐震性に優れた
易施工
耐食性
軽量

空調
消火
排水

給水

水道用耐震型高性能ポリエチレン管

建物用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管・継手(建物排水・通気用)

**エスロン
耐火VPパイプ**

エスロハイパー-AW

熱により中間層が膨張し延焼を防止！

結露実験 山形大学の稼働中の施設において結露滴下無しを確認いただきました！

耐火VPパイプ保温レス有効性検証の為、稼働中の施設の屋内配管スペースの相対湿度(%)と温度をロガーで測定し、水温20℃の結露滴下境界(結露実験と同様)に対する相湿度の分布を記載します。

【前記条件】
・管内水温 2022年6月29日～10月4日 約3ヶ月
・測定管=耐火VPパイプ
・継手=耐火OV継手

**保温材不要で材料費・施工費
トータルコスト削減**

ポリエチレン一体管路で給水配管を耐震化

施工実績 福島大学 学生寮系統埋設配管改修工事で給水管として採用いただきました！

耐食性

高性能ポリエチレン(PE100)の使用で
錆びなし！ 漏れなし！ 赤水なし！

サビや汚れ
なめらかなため汚れが付きにくい
腐食しない
きれいな水
赤水など
従来の配管内

耐震性

埋設配管で実績をつんだ
**水道用耐震型
高性能ポリエチレン管**を採用
30cmの強制変位もクリアで**耐震性確保！**

枝付片壁直管
接合が1箇所のみ

保温レスが可能
鋼管の約1/6の軽さ

積水化学工業株式会社
環境・ライフラインカンパニー 東日本営業部 東北設備システム営業所
〒980-6010 仙台市青葉区中央4-6-1(SS30) TEL 022(217)0608

エスロンタイムス
<https://eslontimes.com>

今月の表紙

蔵王・御釜

宮城県と山形県の県境にまたがる蔵王連峰の象徴ともいうべき火口湖。今もなお硫黄物を噴出している。太陽光線で様々に色が変わる。

表紙写真提供
宮城県観光戦略課

目次

・ 新年のご挨拶 宮城県管工業協同組合 役員一同…………… P 1
宮城県管工業協同組合理事長 井上 環…………… P 2
宮城県知事 村井 嘉浩…………… P 3
仙台市長 郡 和子…………… P 4
仙台市水道事業管理者 加藤 邦治…………… P 5
宮城県中小企業団体中央会会長 佐藤勘三郎…………… P 6
宮城県建設産業団体連合会会長 千葉 嘉春…………… P 7

・ 令和 8 年宮管新年祝賀会を開催…………… P 8
・ 第31回宮管・管工事機材展示会を開催…………… P 9
・ 仙台市水道事業管理者へ陳情…………… P11
・ 令和 7 年度宮管地区連絡会ブロック会議を開催…………… P12
・ 上下水道に関する 4 者間（仙台市水道局・同建設局・（公財）仙台市水道サービス公社・宮管
上下水道委員会）意見交換会を開催…………… P14
・ 5 都市合同防災訓練に参加…………… P15
・ 青下の杜プロジェクト森林保全作業（間伐）に参加…………… P16
・ 宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催…………… P17
・ 「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催…………… P18
・ 令和 7 年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催…………… P19
・ 令和 7 年度給水装置工事配管技能検定会開催…………… P20
・ 2025仙台市下水道フェア開催…………… P21
・ 令和 7 年度宮管親善ゴルフコンペを開催…………… P22
・ 令和 7 年度宮管親善ボウリング大会を開催…………… P23
・ 全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞…………… P25
・ 令和 7 年度宮城県職業能力開発関係表彰式開催…………… P26
・ 第53回仙台市技能功労者表彰を受賞…………… P27
・ みやぎの建設技能グランプリ功労賞を受賞…………… P28
・ 役員ノート 宮城県管工業協同組合 小川 憲昭…………… P29
・ 社会保険労務士からの目…………… P30
・ 青年部コーナー…………… P32
・ 組合のうごき…………… P34
・ 組合員のうごき…………… P38
・ 理事（役員）会報告…………… P39
・ 職員の人事…………… P45
・ 投稿 (有)明和設備工業 神田 和隆…………… P46
・ 編集歳時記 (株)ユーワ技研 金来 和広…………… P47

○裏表紙広告「積水化学工業(株)」

「我が社のおすすめ品!」「Mr.みやかんのこれ知ってる?」「国税だより」「健康だより」「仙台地名の由来」「ことわざ・漢字コーナー」は、誌面の都合により休ませていただきます。

くらしの快適を創造する
宮城県管工業協同組合

〔官公需適格組合〕

理事長 井 上 環

URL <https://www.miyakan.or.jp>

昭和22年 4 月18日設立 組合員101社・準組合員 3 社



〒983－0034 宮城県仙台市宮城野区扇町 4 丁目 3 番33号
〔総 務 部〕 電話 (022) 239－6711 FAX (022) 239－6601

〔資 材 部〕 電話 (022) 284－3011 FAX (022) 284－8497

〔工 事 部〕 電話 (022) 284－5728 FAX (022) 284－5735

〔修繕センター部〕 南エリア（仙台市水道局大野田庁舎内）
〒982－8585 仙台市太白区南大野田29－1
電話 (022) 304－3316 FAX (022) 304－3318
北エリア（同局国見庁舎内）
〒981－0942 仙台市青葉区貝ヶ森二丁目6－7
電話 (022) 277－2251 FAX (022) 277－2252
東エリア（同局卸町庁舎内）
〒984－0015 仙台市若林区卸町二丁目3－1
電話 (022) 237－5114 FAX (022) 237－5120

謹んで新春のご挨拶を申し上げます

令和8年1月

宮城県管工業協同組合

理事長	井 菅 小 吉 小 松 小 渡 郷 相 大 服 堀 大 武 鈴 三	上 原 林 田 川 岡 野 辺 古 澤 浦 部 泉 田 木 浦	環 美 和 之 昭 一 司 浩 雄 朋 明 彦 信 介 晃 一 修
理事			
副 理			
同 務 理			
専 務 常 理			
監 事			



新年のご挨拶



宮城県管工業協同組合
理事長 井 上 環

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、当組合の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございました。心より厚く御礼を申し上げます。

さて、私たち管工事業界を取り巻く環境は、今なお厳しい状況にあります。人口減少による人手不足、資材価格の高騰、働き方改革への対応、更には地球温暖化に伴う環境問題など、課題は山積しております。社会全体が変革を求められる中で、私たちもまた業界の未来を見据え、新たな一歩を踏み出さなければなりません。

本年の指針として、私は「不易流行（ふえきりゅうこう）」という言葉掲げたいと思います。これは時代とともに変化するべきものと、決して変えてはならない本質とを見極めながら進むという意味を持ちます。私たちの業界においても、長年培われてきた確かな技術と信頼という“変わらぬ価値”を守りつつ、時代の要請に応じた新しい考え方や取組を柔軟に受け入れていくことが大切です。

まず人材育成においては、次代を担う若手技術者の確保と育成が喫緊の課題です。熟練の技術を継承しながら、デジタル技術の導入や業務の効率化にも取り組み、働きやすく誇りの持てる環境づくりを進めて参ります。ものづくりの原点を大切にしつつ、新たな技術革新にも果敢に挑戦する、その積み重ねが業界の持続的発展に繋がると信じております。

また、昨今頻発する自然災害への備えも、私たちの重要な使命です。地震や豪雨などの災害発生時、私たち管工事業者はライフラインの復旧において欠かせない役割を担っております。いざという時に迅速かつ安全に対応できるよう、組合として防災体制の強化や訓練の実施、行政との連携強化を進めて参ります。地域の安心を守る担い手として、確かな技術と行動力で信頼に応えていく所存です。

更に、地域貢献活動にも一層力を入れて参ります。学校や地域行事への協力、環境保全や清掃活動などを通じて、地域の方々との繋がりを深めていくことも、組合活動のひとつであると考えております。私たちの仕事は、単に水道や設備を施工するだけでなく、「快適な暮らし」を支える社会基盤を築くことです。その責任と誇りを胸に、地域とともに歩み、共に発展する組合を目指して参ります。

そして、組合の根幹である「協同」の精神を改めて大切にしていきたいと思います。厳しい経済環境の中では、個々の力だけでなく、組合員相互の支え合いと情報共有がこれまで以上に求められます。互いに知恵を出し合い、課題を共有し、協力し合うことで、業界全体の底力が発揮されます。小さな力の結集が、大きな信頼と成果を生み出すことに繋がると確信しております。

私たちは今後も「不易流行」の心をもって変化に柔軟に対応しながらも、技術と信頼という普遍的価値を守り続けて参ります。そして、地域社会に根ざし、安全で快適な生活環境を支える使命を果たしていくことをここにお誓い申し上げます。

結びに、組合員の皆様のご健康とご多幸、そして事業の更なるご発展を心よりお祈り申し上げますとともに、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

更なる変革を目指す年に



宮城県知事

村 井 嘉 浩

明けましておめでとうございます。新しい年を迎えるに当たり、県民の皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昨秋に行われた知事選挙において、県民の皆様からの負託をいただき、引き続き県政運営を担わせていただくことになりました。6期目という県政史上初めてとなる重責を前に身の引き締まる思いを新たにしたところであり、謙虚な気持ちを忘れず、これまで以上に現場に足を運んで、県民の皆様との対話を重ねながら、様々な課題の解決に全力でまい進する所存であります。

昨年は、第48回全国育樹祭や第61回献血運動推進全国大会が本県で開催され、秋篠宮皇嗣同妃両殿下に御臨席を賜りました。若い世代の皆様が、森を守り育てる取組や命を支える活動に関心を持ち、積極的に関わる姿は未来への大きな希望であり、これらの大会を通して、東日本大震災からまもなく15年となる宮城の姿を広く発信することができました。今後も被災地の実情に応じたきめ細かなサポートを継続し、全ての県民の皆様に復興を実感していただけるよう、しっかりと取り組んでまいります。

さて、本県はこれから本格的な人口減少の局面を迎える中、地域経済・社会の持続性を確保し、更なる変革を進めていくことが求められています。こうした大きな課題に向き合いながら、大規模化・多様化する自然災害への備えや依然として続く物価高騰にも対応していくため、「新・宮城の将来ビジョン」に掲げる「宮城の将来像」実現に向けた取組を着実に推進してまいります。

誰もが希望を持ち、安心して暮らせる、活力にあふれた新しい宮城を創造していくことを目指し、今年は「人口減少対策」に重点的に取り組んでまいります。特に、首都圏への流出が続く若者や女性から選ばれる、魅力ある地域・職場づくりを進めるとともに、子ども・子育てを社会全体で支える環境の整備、半導体などの産業誘致による質の高い雇用創出を推進いたします。また、労働力人口が減少する中でも、産業や行政サービスを維持向上させていくには、DX（デジタル・トランスフォーメーション）の活用が不可欠であり、さまざまな分野でデジタル技術の活用を進め、人手不足の解消と生産性向上を力強く後押ししてまいります。

未来へと続く持続可能な宮城県を築き上げるため、全身全霊を傾けて取り組んでまいりますので、一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

新年のご挨拶



仙台市長

郡 和 子

明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。また、日頃より市民の健康と生命を守る重要なインフラである上下水道の安定的な維持管理・運営に多大なご尽力を頂戴しておりますことに、心より感謝を申し上げます。

昨年は、世界的なイベントである大阪・関西万博が開催され、国内外からの観光客で大きくにぎわった一方で、長引く物価の高騰にコメ価格の高騰が加わり、さらにウクライナ紛争の長期化や中東情勢の緊迫化、アメリカの関税措置といった不透明な国際情勢が、市民生活に大きな影響を及ぼした一年でもありました。こうした状況が今後も続くことが予想される中で、市民の皆様が安心して暮らせるよう身を引き締めて市政運営にあたっていく所存です。

本市では先述の大阪・関西万博において、東北6県の夏祭りが一堂に会した東北絆まつりパレードを6月に披露することができました。熱気に包まれた会場は大いに盛り上がり、東日本大震災の際に国内外からいただいた復興支援に対する感謝をお伝えすることができたことにつきましては、大変喜ばしく思っております。そして、世界各国に東北をPRする貴重な機会であったとともに、日本中の多くの方にも東北の魅力を再認識してもらうことができたのではないかと感じております。

続く7月には、令和3年2月と令和4年3月の福島県沖地震で被災した仙台北城跡の石垣の復旧作業が完了いたしました。今後は秋保大滝展望台の整備や、海外プロモーション、大河ドラマの誘致に加え、少し先になりますが仙台北城大手門の復元にも取り組んでまいります。この機運を捉え、仙台・東北の誘客につながる施策を実施することで、来訪者が心躍り市民も楽しめる観光都市を目指してまいりたいと考えております。

また、本市では、昨年3月に策定した仙台市ダイバーシティ推進指針に基づき、一人一人が尊重され、多様な人々が持てる力を十分に発揮できることを目指すダイバーシティのまちづくりを進めております。ダイバーシティのまちづくりは、歴史を遡れば、仙台藩祖の伊達政宗公が全国から職人や専門家を積極的に招き、慶長遣欧使節を派遣して世界との交流を志したことにも通じるものがあります。このような土壌がある本市ですが、東北大学の国際卓越大学の認定やナノテラスの稼働等により、今後さまざまな価値観を持つ方々が集う多彩なまちになっていくことが期待されます。誰もが生き生きと自分らしく活躍できるよう、この取り組みを推進することが、まちとしての豊かさにつながると信じております。多様な方々が仙台を選び、仙台を活躍の場としていただくことが、地域経済の持続的な成長へとつながると展望いたしますとところでございます。

本年におきましても、さまざまな施策を通じて、「笑顔あふれ世界から選ばれるまち・仙台」の実現に向けて着実に歩みを進めてまいります。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、上下水道をはじめ、仙台市政への引き続きのご支援とご協力を賜りますようお願いを申し上げます。

結びに、この1年が皆様にとりまして実り多きものとなりますよう、心よりご祈念を申し上げます、新年の挨拶といたします。

新年のご挨拶



仙台市水道事業管理者
加藤 邦治

新年、明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては、清々しい気持ちで新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、昨年中におきまして、本市水道の事業運営に多大なるお力添えを賜りましたことに、この紙面をお借りいたしまして、厚く御礼を申し上げます。

長引く物価高騰に伴う資材価格の高騰や人口構造の変化がもたらす労働力不足、人件費の上昇など、皆様におかれましては、一層厳しさを増す経営環境のもと、市民の暮らしと地域産業の基盤を支えるライフラインである水道を守るため、日々ご尽力いただいておりますことに、重ねての感謝を申し上げます。

貴組合の皆様には、私どもの水道修繕受付センター各所において、年末年始はもとより、日夜問わず入電する市民の方々からのご連絡に丁寧に、また迅速にご対応いただいております。業務に対する使命感は非常に心強く感じられ、いつも胸を打たれる思いでございます。また、本市において昨年11月に開催した災害時における相互応援の覚書を締結している都市との合同訓練では、貴組合からの積極的なご参加・ご協力を賜り、水道事業におけるパートナーとしての結びつきを一層深めることができたのではないかとありがたく感じております。

水道事業を取り巻く環境は刻々と変化しており、人口減少による水需要の減少に合わせて水道施設の統廃合等による再構築を図り、将来に向けて最適な構造を構築していく必要があるとともに、拡張期に整備した水道施設が更新時期を迎えるなど、厳しい状況に置かれています。

このような状況にあっても、安全で良質な水道水を安定的に市民の皆様にお届けしていくことが私ども水道事業者の役割であり、引き続き各般の施策を通じて皆様の暮らしを守ることができるよう、持続的かつ安定的な事業運営を行ってまいります所存です。

水道施設の再構築にあたっては、現在進めている本市と塩竈市との共同浄水場整備事業をはじめ、水需要の減少に合わせる形で安定給水やバックアップ機能確保の観点も持ちながら、施設の統廃合や再配置、規模の見直しなどを行うことで、水道システムの最適化を目指し、効率的な事業運営を目指します。

また、災害に強い施設・システムづくりを推進するため、管路更新のペースアップや重要施設への管路の耐震化などにも取り組み、老朽化や漏水等のリスクを抑制してまいります。

水道局では、昨年3月に事業運営の基本となる「仙台市水道事業中期経営計画（令和7年度～令和11年度）」を策定いたしました。基本理念である「未来へつなぐ杜の都の水の道～市民・事業者との協働～」のもと、市民の皆様にとってこれからも水道が当たり前存在であり続けられるよう、将来に向けて一步一步着実に取り組んでまいりますので、本市水道事業の持続的な発展のため、これからも尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、宮城県管工業協同組合の皆様が益々のご発展・ご活躍を遂げられますよう心より祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

本年も、どうぞよろしくお願い申し上げます。

新年のご挨拶



宮城県中小企業団体中央会

会長 佐藤 勘三郎

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮城県管工業協同組合の皆様におかれましては健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より本会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、去年は、日本経済にとって「成長型経済」への移行をかけた、極めて重要な一年となりました。

高市政権が掲げた「強い経済」の実現に向けた積極的な施策が打ち出され、特に物価高対策としての官公需の価格転嫁の徹底やエネルギーコスト等の負担軽減、中小企業の賃上げ環境整備を後押しする政策が展開されたほか、経済全体としては一部に弱めの動きもみられますが、緩やかに持ち直している状況が続いています。

しかし、皆様が肌で感じられたように、中小企業を取り巻く経営環境は、物価・原材料価格の高騰のほか、過去最高を更新し続ける最低賃金の上昇に対し、その原資となる適正な価格転嫁が十分に進んでいないなど、課題が山積しております。また、人口減少とそれに起因する人材不足の課題、経営者の高齢化による事業承継の課題は、長らく中小企業の最大の経営課題となっています。

こうした中、経営資源の不足等を補完、克服してより企業価値を高めていくためには、組合をはじめとする連携組織を積極的に活用し、個々の経営力強化に繋げていく取り組みが今以上に重要になってくるものと思われます。

貴組合におかれましては令和9年度に創立80周年を迎えると聞き及んでおります。長年培ってこられた組織力を十分に発揮され、全ての人々が生きていく上で第一に必要とされるライフライン「命の水」を守り供給する管工事業界の発展のために、その存在感を益々高めて頂けるようご期待申し上げます。

本会といたしましても、先の全国大会に於いて決議された各要望項目の実現に向け、今後とも全国中小企業団体中央会と歩調を合わせた活動を展開するとともに、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、引き続き行政・関連支援機関と連携し、皆様が抱える経営課題の克服に向けた取り組みへの支援等について、これまで以上にお役に立てるよう全力で努力を続けて参ります。

今年の干支である「午」は、その力強く駆ける姿から「躍動」や「飛躍」、「開運」を象徴すると伝えられています。目まぐるしい経済環境の変化に対し、粘り強く事業を継続されている中小企業の皆様の努力と情熱は、まさにこの午年の勢いそのものであり、心から敬意を表する次第です。

本年が皆様にとって更に力強く、そして飛躍的に発展される年になりますことをご祈念申し上げますとともに、引き続き本会へのご支援とご協力をお願い申し上げ、新年の挨拶をさせていただきます。

新年のごあいさつ



宮城県建設産業団体連合会

会長 千葉嘉春

新年明けましておめでとうございます。

宮城県管工業協同組合の皆様方には、お健やかに新春をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

去年は、「多様でありながら、ひとつ」を理念とした「最大の木造建築物」としてギネス世界記録に認定された大屋根リングをシンボルとした「大阪・関西万博」が、開幕前は批判的な意見や多くのトラブルがあったものの、約半年間の会期で来訪者は2,500万人を超え、多くの人々に夢や希望を与え惜しまれながらの閉幕となり有終の美が飾られました。

一方で、1月の埼玉県八潮市における下水道管破損による道路陥没事故による影響は、国民に大きな衝撃を与え、近隣住民120万人の生活にも及び「災害級の被害」となりましたが、あって当たり前の日常生活に欠かせない生活インフラが、各地で不具合や支障が出始めている状況にあります。社会資本ストックは高度経済成長期に集中的に整備され、建設後50年以上経過する施設の割合が年々加速度的に高くなることから、インフラの老朽化対策が焦眉の急であります。

少子高齢化、人口減少時代の到来により、令和6年人口動態統計における出生数は70万人を割り込む、68.6万人と統計を取り始めて過去最少を更新している実態にあり、産業間・企業間による熾烈な人材獲得競争が繰り広げられる中で、他産業と比べても高齢化の進展が著しく進行している建設産業における将来の担い手の確保が大きな課題であります。

魅力ある産業に向けた新しい働き方・暮らし方ができる産業として多様な人材の雇用の受け皿となるべく、他産業に負けない処遇改善を進め、現場施工においては省力化や省人化、生産性向上に向けた建設分野でのDXの推進等の普及拡大に向けた動きが進められておりますが、1日の実作業時間が圧縮されること、天候不良や地球沸騰化による作業不能日が生ずることなどから、これらを踏まえた適正な工期設定や施工歩掛り、実情に見合った割増補正などによって、建設現場で働く方々の年収ベースでの魅力ある賃金確保が求められております。

昨年末には改正建設業法に基づいた建設工事の請負契約に係る新たなルールの導入として、適正な水準の労務費がすべての段階において確保され、技能労働者の賃金として行き渡ることを目的とした「労務費に関する基準（標準労務費）」が全面施行されたことから、さらなる処遇改善に向けて大きな期待を寄せており、当建産連と致しましても建設産業の「新4K（給与が良く・休日が取れ・希望が持てる産業・そしてカッコイイ）」を掲げ、やりがいや誇りと魅力ある産業づくりに向け真摯に取り組んで参る所存であります。

人々の生活が続く限り必要不可欠の建設産業の中で「命の水」を安定的に供給する重要な生活基盤を支える貴組合員の役割は重要であることから、しっかりと将来の担い手を確保し、生涯を託せる産業づくりに貴組合とも連携し一体となって進めて参りたいと存じます。

最後になりますが、貴組合並びに組合員皆様がさらに飛躍発展されますことを心から念願し新春のあいさつといたします。

令和8年宮管新年祝賀会を開催



井上理事長

1月22日(木)、仙台市青葉区の江陽グランドホテルにおいて、新年祝賀会を開催したところ、来賓及び組合員等155名が出席した。

祝賀会は、午後5時30分に千葉事務局長の司会で開会し、はじめに井上理事長から「近年、社会経済環境が大きく変化し続けているが、その中にあるだけでも私たちは確実に前進していかなければならない。私たちの業界は、幾多の困難を乗り越え、地域の生活と産業を支える力強さを持つ。これこそが私たちの誇りであり、次代に継ぐべき精神である。どんなに踏まれてもインフラを守るこの『雑草魂』で、組合員一人ひとりが自ら考え、行動し、互いに支え合うことで、より強固な組合づくりを進め、地域社会の発展と安全なライフラインの維持に貢献できるよう、さらなる努力を重ねていきたい」と挨拶があった。



村井宮城県知事



高橋仙台市副市長



東北地方整備局沖川建政部長



加藤水道事業管理者

続いて、村井嘉浩宮城県知事から、「皆様には見えないところを支えていただき、まさに縁の下の力持ちであると大変感謝している。全国各地で災害が多発しているが、いつも迅速に対応いただき大変心強く思っている。宮城県では漏水調査に衛星を使用しているが、これからも皆様方の仕事少しでも効率的に進めることができるよう協力していく。また、国からの交付金を活用して、よりよい経営ができるようサポートしていきたい」、仙台市長（代理：高橋新悦副市長）から「皆様には日頃より多大なるお力添えをいただき感謝申し上げます。昨年はインフラの老朽化に起因する事故が全国的に注目を集め、ライフラインの維持管理の重要性を改めて痛感させられた。本市においても安全・安心な街づくりを積極的に進めているが、そのためには豊富な経験と高度な技術を持つ皆様方に、ライフラインを支えるパートナーとして、今後もより一層の協力を賜りたい」、国土交通省東北地方整備局長（代理：沖川弘毅建政部長）から「皆様方の献身的な尽力により、東日本大震災からの復興事業を着実に進められたことに感謝申し上げます。しかし、近年激甚化・頻発化する自然災害への対応やライフ

ラインの老朽化対策など、課題は山積している。持続可能な建設産業の実現に向けて、技能者の処遇改善に取り組むなど、建設産業が他の産業に負けない魅力的な産業となるよう、皆様と連携を図って参りたい」と祝辞を頂戴した。

また、宮城県議会の佐々木幸士議長から挨拶をいただき、加藤邦治仙台市水道事業管理者の乾杯の発声で開宴した。

出席者は、新年の挨拶を交わして、親しく歓談し、午後7時に菅原副理事長の中締めで盛会のうちに閉会となった。



新年祝賀会の様子

第31回宮管・管工事機材展示会を開催



テープカット

11月28日(金)、仙台市若林区のサンフェスタ(卸町会館)において、取引先のメーカー等46社のご協力をいただき、第31回宮管・管工事機材展示会を開催したところ、組合員等601名が来場した。

開会式は、午前9時40分から資材部営業課の石川職員の司会で進められ、はじめに井上理事長から「出展メーカー・商社、資材委員の皆様方のご協力のもと、お陰様で第31回目の展示会を開催することができた。心より御礼申し上げる。今後も信頼と協調でより良い未来に繋いでいくよう努めていくので、更なるご支援をお願いしたい。笑顔

であふれる楽しい一日を過ごしていただければと思う」と挨拶があった。続いて、井上理事長、渡辺毅浩資材委員長(中央管工業株)、大泉雄介資材副委員長(株北栄工業所)、前澤工業株の清水竜一東北支店長、アビトップ株の佐藤大樹ブロック長によるテープカットが行われ、展示会が開幕となった。

来場者は、出展メーカーのブースをじっくり見て回り、担当者から商品の説明を聞いたり、製品を手にとって使い心地を確かめていた。



詳しい説明を受けていました



実際に触れていただきました



女性の方も多く来場しました



お昼時に賑わった休憩スペース



好きなメニューを選んでいただきました



様々な景品が当たるお楽しみ抽選コーナー



渡辺資材委員長

食事処では「豚丼・ホットドッグ・塩焼きそば」と飲み物、デザートを用意し、当組合による産直コーナーでは、新米の販売を行った。

また、恒例のお楽しみ抽選コーナーでは、沢山の景品を目当てに皆さん笑顔でくじを引いていただき、最後まで盛り上がっていた。午後4時、渡辺資材委員長の挨拶を以て、大盛況のうちに閉会した。

展示会の企画・運営に当たられた資材委員並びに出展いただいた各社の皆様に心より感謝申し上げます。これからも組合員の皆様に喜んでいただけるよう、関係者一同、努力して参りますので、なお一層のご愛顧をどうぞ宜しくお願いいたします。



Mr. みやかん

出展会社（敬称略・50音順）

- | | | |
|----------------------|------------------|-------------------|
| ・(株)アカギ | ・S A N E I (株) | ・(株)光合金製作所 |
| ・旭日産業(株) | ・サンエス護謨工業(株) | ・日之出水道機器(株) |
| ・アビトップ(株) | ・(株)三金 | ・百人力 |
| ・板橋機械工業(株) | ・シーケー金属(株) | ・フネンアクロス(株) |
| ・S F A J A P A N (株) | ・(株)シバタ | ・ブリヂストン加工品ジャパン(株) |
| ・(株)カクダイ | ・ジャパンエンジニアリング(株) | ・ホミタ農産 |
| ・(株)川西水道機器 | ・積水化学工業(株) | ・前澤化成工業(株) |
| ・(株)キッツ | ・大成機工(株) | ・前澤給装工業(株) |
| ・(株)キッツエスジーエス | ・(株)竹村製作所 | ・前澤工業(株) |
| ・(株)クボタ | ・(株)谷沢製作所 | ・ミヤコ(株) |
| ・(株)クボタケミックス | ・(株)タブチ | ・未来工業(株) |
| ・倉敷化工(株) | ・T O T O (株) | ・ユアサ商事(株) |
| ・(株)栗本鐵工所 | ・西尾レントオール(株) | ・(株)L I X I L |
| ・クリエイト(株) | ・(株)日邦バルブ | ・リンナイ(株) |
| ・(株)工進 | ・日本鑄鉄管(株) | |
| ・コスモ工機(株) | ・(株)ノーリツ | |

仙台市水道事業管理者へ陳情

10月10日(金)、仙台市太白区の仙台市水道局大野田庁舎4階の第一応接室において、当組合と仙台市配水管工事業協会（以下、水工会）の両団体は、仙台市水道事業管理者に対して連名で、業界が抱える課題と来年度事業に向けた陳情を行い、4項目について改善要望した。

なお、仙台市水道局の出席者、両団体からの陳情者及び陳情項目は次のとおり。



陳情の様子

－陳情会出席者－〔順不同・敬称略〕

仙台市水道局：加藤水道事業管理者・下山田次長

佐藤次長・橋浦総務部長・宮野給水部長・渡部浄水部長

脇田総務課長・林財務課長・千枝参事兼計画課長・佐藤参事兼管路整備課長

宮城県管工業協同組合：井上理事長・菅原副理事長・吉田専務理事・堀理事

仙台市配水管工事業協会：渡辺会長・大浦副会長

－陳情項目－

1. 予算と事業量の確保について

仙台市の水道ライフラインの守り手として、その一翼を担わせていただいている宮管の組合員企業と水工会会員企業が今後とも健全経営を維持できるよう、配水管整備事業に対する一層積極的な予算化と安定的な事業量の確保に特段のご配慮をお願い致します。

2. 週休2日制の促進を図る適切な工期設定と費用計上について

配水管工事の週休2日モデル工事に対して経費の補正をいただいているところではありますが、建設業における長時間労働の是正と休日増は、人材確保のうえでも早期の改善が命題となっております。

つきましては、地元中小専門工事会社が4週8休以上の週休2日制（土日・祝日の休業確保）の実現に取り組み、業界の週休2日制の促進が図られるよう、適切な工期設定、発注と施工時期の平準化、納期の分散化、実態に即した適正な経費の計上をお願い致します。

3. 熱中症防止対策の強化について

熱中症防止対策については、本年4月に労働安全衛生規則の一部が改正され、6月1日から暑熱な場所（WBGT28℃以上または気温31℃以上の環境下）で継続して1時間以上または1日当たり4時間を超えて実施が見込まれる作業に対し、「体制整備」、「手順作成」、「関係者への周知」が事業者に義務付けられ、現場における対策の強化が図られております。

ご当局におかれましては、熱中症防止の対策経費として、現場管理費の補正にご配慮いただいておりますが、真夏日や猛暑日に、作業員の安全確保を図るための作業中断や休止に伴う施工量の低下、日除けテントやシートの設置等による現場環境の改善、熱中症アラートバンドや空調服・経口補水液等による予防措置に加え、新たに熱中症予防管理者を選任するなどの労務管理の強化に対し、更なる経費の充実をお願い致します。

4. 間接工事費の管材費対象額2分の1控除の見直しについて

令和6年度より、水道施設工事における間接工事費の一般管理費については、管材費の全額が算出対象額となりましたが、共通仮設費と現場管理費に関しては、特殊製品を除き、管材費の2分の1が控除されています。

同じ国土交通省所管の下水道工事における積算では管材費の全額が間接工事費算出の対象額となっていることから、積算基準の見直しをお願い致します。

令和7年度宮管地区連絡会ブロック会議を開催

この地区連絡会制度は、昭和51年に組合員からの要望によって発足し、毎年開催している会議では情報交換、話題の提供、組合や関係機関等に対する質問及び要望事項等、日頃の諸課題について地区毎に少人数で組合執行部と会員とが意見を交換し、相互の意志疎通を図る貴重な機会になっている。

今年度の各会議では、井上理事長の挨拶に続き、小川常務理事から「令和7年度上半期共同事業の実績報告」があり、下期も特段のご協力を賜りたい旨が要望された。次に、堀理事から行政関係のお知らせとして「令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表の改定」によって諸雑費の引き上げが行われたこと、「令和7年総合評価一般競争入札の手引きの改定」により防災訓練複数（2回以上）参加で1点加点されることに変更された一方、災害時の緊急修繕工事に対する加点がなくなったことが説明され、当組合が仙台市水道局・仙台市と結んでいる協定について解説された。また、「令和7年度5都市合同防災訓練の実施」について、訓練参加証明書の発行に関して水道局と調整が進んでいること、「地図の使用にあたっての著作権」について、ゼンリンの地図使用には許可が必要なこと、工事申請図や完成図には国土地理院の地図が利用できること等が伝えられた。

また、ブロック会員から提出された議題や意見・要望については、後日開催予定の4者間（水道局・建設局・水道サービス公社・当組合）意見交換会の場で関係当局の見解等を求めていく旨が説明された。

会議終了後には、それぞれのブロック主催による懇親会が開かれ、親睦を深めた。

なお、会議項目と各ブロックの会議開催状況は次のとおり。

【会議項目（共通）】※詳細は別途送付の「ブロック会議総括表」を参照願います。

（1）組合からの報告・説明事項

- ①上半期共同事業実績報告
- ②令和7年度水道施設整備費に係る歩掛表の改定について
- ③令和7年総合評価一般競争入札の手引きの改定について
- ④令和7年度5都市合同防災訓練の実施について
- ⑤地図の使用にあたっての著作権の注意について

（2）会員からの提出議題

- ・上下水道に関する課題・要望等

【各ブロックの開催状況】（開催日順・敬称略）

■青葉ブロック

開催日 令和7年10月24日（金）
場 所 パレスへいあん
出席者 会員等19名

執行部 井上理事長以下四役、他
代表幹事 高田 浩之（ウォータークス仙台㈱）
副代表幹事 扇 俊介（藤倉設備工業㈱）
担当理事 大泉 雄介（㈱北栄工業所）



青葉ブロック

■泉ブロック

開催日 令和7年10月27日(月)
場 所 力寿司 清柳館
出席者 会員等21名

執行部 井上理事長以下四役、他
代表幹事 神田 和隆 (有)明和設備工業)
副代表幹事 阿部 一貴 (三豊工業株)
担当理事 郷古 孝雄 (有)藤英工業)



泉ブロック

■宮城野・若林・太白ブロック合同

開催日 令和7年10月29日(水)
場 所 ホテルグランテラス仙台国分町
出席者 会員等36名

執行部 井上理事長以下四役、他

[宮城野ブロック]

代表幹事 佐藤 敏昭 (仙興設備株)
副代表幹事 氏家 利明 (ミノワ設備工業株)
担当理事 松岡 清一 (株松清産業)

[若林ブロック]

代表幹事 渡邊 修一 (有)今野設備工業)
副代表幹事 出野 正弘 (有)共立設備)
担当理事 大浦 明 (株仙塩管工事センター)

[太白ブロック]

代表幹事 石川 渡 (株いづみ衛生施設工業)
副代表幹事 星川 勇 (有)嘉平工業所)
担当理事 相澤 良朋 (株相澤設備)



宮城野・若林・太白ブロック



水道用空気弁
主要部品が樹脂製のため、
サビ・腐食の心配がありません。

さびない、軽い

ASAHI AV™



ASAHI YUKIZAI

樹脂製バルブ
しかも丈夫で長持ち

お問い合わせ
旭有機材株式会社
管材システム事業部
東京営業所
TEL: 03-5826-8829
FAX: 03-3834-7592

上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会を開催

12月2日(火)、当組合3階研修室において、上下水道に関する4者間(仙台市水道局・同建設局・(公財)仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会)意見交換会を開催し、仙台市水道局より2名、同建設局より2名、仙台市水道サービス公社より3名、当組合からは上下水道委員を中心に10名の合計17名が出席した。



意見交換会の様子

午後2時、はじめに当組合の郷古孝雄上下水道委員長(有藤英工業)と3機関を代表して水道局の天間智哉給水装置課長から挨拶があった後、意見交換を行った。

なお、意見交換項目と出席者は次のとおり。

[意見交換項目]

仙台市水道局関係：①水道加入金・手数料の納付方法 ②マイクロ図面 ③給水の隠れ栓番 ④カラーコピー機の設置 ⑤写真検査 ⑥目視検査 ⑦給水管の敷地縦断 ⑧設計水圧分布図 ⑨給水戸番図の閲覧 ⑩舗装種別・住所コードのオンライン化 ⑪電子黒板

仙台市建設局関係：①指導内容のマニュアル化、明確化、統一化 ②配置人員の適正化 ③16条申請 ④公共枅の写真提出 ⑤既設公共枅の取付管のカメラ調査 ⑥取付管工事の申請 ⑦下水道施設図 ⑧グリース阻集器 ⑨雨水排水量の計算

(公財)仙台市水道サービス公社関係：①窓口の体制 ②道路の着工前写真 ③先行取り出し図面 ④事前検査予約 ⑤特殊器具の写真提出 ⑥無届工事の取り扱い

水道局・建設局関係：①各種協議予約のオンライン化 ②提出書類の捺印の取り扱い

[出席者]

仙台市水道局給水部給水装置課

天間 智哉 課長

鈴木 広昭 給水装置係長

仙台市建設局下水道経営部業務課

鈴木 雄一 課長

三塚 祐司 主幹兼排水設備係長

(公財)仙台市水道サービス公社

高橋 修 専務理事兼事務局長

鈴木 正弘 設計課長

鎌田 広紀 設備審査課主幹兼設備検査係長

宮城県管工業協同組合

郷古 孝雄 上下水道委員長(有藤英工業) 相澤 良朋 上下水道副委員長(株相澤設備)

古山 幸司 同 委員(山幸総合設備株) 星川 勇 同 委員(有嘉平工業所)

後藤 和弘 同 委員(有勇扇工業) 岩城 貴大 同 委員(株江陽工業)

吉田 秀之 専務理事 小川 憲昭 常務理事 堀 政信 理事 千葉 史規 事務局長

組合員の皆様には、別に「ブロック会議総括表」と併せて「4者間意見交換会記録」を昨年12月下旬に送付させていただいておりますので、そちらで詳細をご確認願います。



Mr. みやかん

5都市合同防災訓練に参加 ～仙台市・札幌市・東京都・新潟市・堺市～

11月13日(木)午後、仙台市太白区茂庭の仙台市立生出小学校において、仙台市水道局と災害時の相互応援覚書を締結している4都市水道事業体（但し、東京都、堺市については諸般の事情により不参加となり2都市水道事業体）、協定締結団体・企業が集結して応急給水訓練・応急復旧訓練を開催した。当組合は仙台市水道局と締結している「災害時等における水道施設復旧等の応援に関する協定」に基づき、毎年連携して多様な訓練を行っており、今年度は、初めて他都市水道応援隊と合同で訓練を実施することになり、組合員37社42名・組合役職員9名が訓練に参加した。

訓練は12日から14日までの3日間の日程で行われ、初日は水道局本庁舎において、危機対策本部設営、2都市参集・受入、仙台の水道施設の被害説明など本番に則した流れで進められた。

13日午前には、水道局本庁舎で水道本部員会議が開かれ、当組合から情報連絡員2名が出席して、被災状況、応急給水計画、応急復旧計画の情報収集と組合への伝達訓練を行った。また、上下水道一体化した効率的な復旧を目指して、下水道担当職員も会議に参加し、上下水道の被害エリア、復旧方針の確認等が行われた。



11月13日13時45分、約220名が集結した

午後、報道機関、各都市水道事業体職員、協定締結団体・企業、市役所、県企業局、当組合などの訓練参加者、参観者あわせて約220名が集結し、13時45分、仙台市水道局水道危機管理室の小関室長の開会挨拶で応急給水訓練、応急復旧訓練が始まった。

応急給水訓練は、1トンの仮設水槽2基を組み立て、給水車で茂庭浄水場から運搬してきた水道水を水槽に補給した。給水担当係員は応急給水をうける市民役を補助してスムーズな給水活動を行った。児童たちは事前に配布された背負いタイプの6リットル給水袋が満タンになるまで競うように水を汲んでいた。

応急復旧訓練は、サドル分水栓が外れて穿孔穴から漏水しているという設定で、給水車から圧力をかけ、噴出状態からフクロジョイントで止水するデモンストレーションを3回行った。説明役の水道局職員の進行のもと、レインスーツとヘルメット、ゴーグルで身を固めた復旧隊（中央管工業株）は吹き出す水でズブ濡れになりながら、見学者が漏水修繕工事に対する理解を深められるよう、見やすい作業に努めた。

訓練終了後には、配水管部会員有志が訓練会場の片付け、校庭の整備を行い、会場をあとにした。11月の屋外訓練ということで、気温や雨が心配であったが、天候に恵まれ、色づき始めた木々に囲まれて気持ちの良いイベントとなった。



仮設水槽の組み立て



応急復旧訓練（中央管工業株の皆さん）

青下の杜プロジェクト森林保全作業(間伐)に参加

9月20日(土)、仙台市青葉区熊ヶ根の青下水源地において、官民連携による水源保全事業「青下の杜プロジェクト」の一環として森林保全作業が行われ、当組合からは、青年部の協力を得て青年部会員とその子ども等8名が参加して仙台市水道の水源地を守る取組を行った。

当日は、早朝に小雨が降って開催が懸念されたが、会場に集まるころには雨も止み、逆に夏以降も続いた酷暑も一服という良好なコンディションの下での活動となった。

午前9時、組合をはじめ「青下の杜プロジェクト」に参加している5企業の社員家族、水道サポーター、仙台市森林アドバイザー及び水道局職員など約60名が青下水源地中央の広場に集まり、開会のセレモニーが始まった。まず参加団体の紹介のあと、人事異動で初めて当プロジェクトの担当となった中道営業企画係長から「自然豊かなここ青下水源地の自然と澄んだ空気を感じて、私も、心も体もリフレッシュ、きれいにしたい」とフレッシュな挨拶があった。その後、仙台市森林アドバイザーから安全活動上の注意事項について説明があり、熱中症対策のドリンクを受け取って、当組合の活動エリアである「みやかんの杜」に向かった。



ノコギリ作業

「みやかんの杜」エリア内には、事前に森林アドバイザーが印をつけた間伐対象の枯れ木が10数本あり、1本ずつ倒す方向とノコギリの当て方を確認しながら丁寧に切り倒した。また、伐採した木は焚き木として有効活用するため、手ごろなサイズに切り揃え、隣接する水道記念館の外テラスまで搬出し積み上げた。父親たちが木こりになって悪戦苦闘している間、子どもたちは水道局が準備した薪割り体験やミニゲームで楽しい時間を過ごしていた。

予定していた11時30分には伐採した木の集積も終わり、水道記念館をバックに参加者全員で記念写真を撮って活動は終了となった。

12月1日から青下水源地と水道記念館は冬季休館となっている。しばらくの間は雪を被って冬ごもりになってしまうが、再び新緑となる季節には、青下の杜フェスティバルが予定されている。フェスティバルを楽しむとともに、「みやかんの杜」を訪れて活力に溢れる木々に再会してパワーをいただきたいものである。



参加者集合写真

宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会を開催



白石工業 伊藤教頭

11月4日(火)と5日(水)の2日間にわたり、宮城県白石工業高等学校において、同校の設備工業科2年生18名を対象に標記講習会を開催した。開催にあたっては、当組合が主体となり、一般社団法人日本ダクトイル鉄管協会（以下、ダク協）とメーカー3社（㈱クボタ・積水化学工業㈱・前澤給装工業㈱）の協力をいただいた。

同講習会は、近年、配管施工に関する技術が目覚ましく進展している中で、学校のカリキュラムだけでは、なかなか学ぶことが出来ない配管工事の最新技術を体験学習するもので、令和3年度からスタートし、今回は5

回目の開催となった。

初日4日の午前11時、同校の伊藤康弘教頭と当組合の井上理事長から挨拶があった後、講師が紹介され講習に入った。

ダク協（㈱クボタ）が水道施設とダクトイル鋳鉄管について、積水化学工業㈱が水道配水用ポリエチレン管の施工について、前澤給装工業㈱がサドル付分水栓と施工について、それぞれ担当者が座学で説明を行った後、実技講習が2～3人の3班に分かれて行われ、受講した生徒は各コースを2日間で順番に体験した。

実技講習終了後、講義室に生徒全員が集まり閉講式が行われた。はじめに、ダク協の桂島剛東北支部長から2日間の講評と、講習会のまとめとして、当組合の鈴木資材部長から現場での作業状況と当組合の関わりについての説明があった。

その後、生徒代表からお礼の言葉をいただき、2日間の講習会を無事終了した。



ダクトイル鋳鉄管についての座学



水道配水用ポリエチレン管の切断



サドル付き分水栓の施工



参加者集合写真

「みやぎ建設産業架け橋サロン」開催

12月10日(水)、宮城県白石工業高等学校において、宮城県主催の「みやぎ建設産業架け橋サロン」が開催された。建設産業では現在、従事者の高齢化や若手技術者・技能者の減少等により担い手不足が深刻化している。そこで、地元建設企業の若手技術者・技能者が、建設産業の将来の担い手として期待される県内工業高校の生徒と交流し、建設産業の魅力ややりがい、労働環境等を直接伝えることで建設産業に対する関心・理解を醸成し、今後の就労促進を図ることを目的としてこの事業が実施されており、今回で6年目となる。当組合は毎年県からの要請を受け、組合員企業から若手の技能者を派遣してきている。



建設産業の魅力等について聴講する様子



(株)いづみ衛生施設工業
石川氏

当日は、午前9時に県土木部事業管理課建設業振興・指導班の飯澤麻理乃主事の司会で開会した。はじめに、(一社)宮城県建設業協会を代表して(株)松浦組の松浦洋平代表取締役から、建設産業の魅力等についての講話があった。

次に、県が制作した建設業入職促進支援・啓発動画を視聴した後、生徒が3つのグループに分かれ、グループのコーディネーター役を当組合から派遣した石川昂由氏(株)いづみ衛生施設工業)の他、(一社)宮城県建設業協会から派遣された猪股諒輔氏(株)松浦組)、(一社)宮城県空調衛生工業事業協会から派遣された森勇純氏(株)ホシナ)が務め、フリートーク形式で懇談した。各コーディネーターはグループ毎に生徒と交流し、今の仕事を選んだ理由、仕事の内容や魅力、給料、休暇の取得状況、建設業に必要な資格などについて話をした。また、グループワークとして、グループ毎にA4の紙を20枚使ってペーパータワーを作成して高さを競い合い、生徒との距離を縮めた。その後、建設業に対するイメージを付箋に記し、模造紙にまとめて発表が行われた。最初は「疲れる」「休みが少ない」「大変」というマイナスのものが多かったが、「体力がつく」「休みはある」「稼げる」と、イメージがプラスに変化し、理解が深まったことがうかがえた。



グループ毎にフリートークが行われました



建設業のイメージを模造紙にまとめました

令和7年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催

9月26日(金)と27日(土)の2日間にわたり、当組合3階研修室において給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催したところ、組合員の従業員等13名が受講した。この講習会は主任技術者試験合格の一助となるよう例年開催しており、講師は当組合の小島修繕センター部長が務めた。

開講にあたって服部達彦総務・厚生副委員長(服部産業(株))から「給水装置工事主任技術者の資格は大変重要な資格である。この講習会を活用し、しっかり勉強して合格していただきたい」との挨拶があった後、早速講習に入った。



服部副委員長



小島部長

冒頭、講師の小島部長より、全ての科目で合格点を取る必要があること等、試験の合格基準の具体的な説明があり、また、「過去問題を何度も繰り返して解き、冷静に試験に臨めば確実に合格に近づく。受講生の皆さんは仕事をしながらで、なかなか勉強時間を取りにくいと思うが、頑張っ合格してほしい」と話された。その後、2日間にわたり、『給水装置工事技術指針』と全国管工事業協同組合連合会発行の『これならわかる問題と解説』から抜粋して作成した資料によって過去問題を解きながら解説していく形で講習が行われた。出席者は真剣に講義を受け、演習問題に取り組んでいた。

【講習内容：試験範囲全般】

公衆衛生概論、水道行政、給水装置工事法、給水装置の構造及び性能、給水装置計画論、給水装置工事事務論、給水装置の概要、給水装置施工管理法



講習の様子

ダクスタイル管

日本鑄鉄管(株) 特約店



株式会社

ナ ン ブ

代表取締役 植 原 文 夫

(本 社) 〒116-0013 東京都荒川区西日暮里3-6-7
(東北営業所) 〒981-3215 仙台市泉区北中山4-1-2

電話 03(5809)0562(代) FAX03(5809)0563
電話 022(379)4393(代) FAX022(379)4394

令和7年度給水装置工事配管技能検定会開催



給工財団 小日向部長

10月7日(火)と8日(水)の2日間にわたり、当組合構内において、公益財団法人給水工事技術振興財団（以下、給工財団）主催、公益社団法人日本水道協会と全国管工事業協同組合連合会（以下、全管連）の後援、全管連宮城県支部〔宮城県管工事業協同組合連合会（以下、宮管連）〕の運営により、令和7年度給水装置工事配管技能検定会が開催された。

水道法施行規則第36条第2号に、配水管から水道メーターまでの給水装置工事については、適切な技能を有する者に施工させる旨が規定されている。給工財団では、適切な技能を有する者を養成するため平成11年度から「給水装置工事配管技能者講習会」を開始したが、水道事業発展への更なる貢献と技能を有する者の養成促進という観点から、平成22年に講習内容の検討と見直しを行い、平成24年度より「給水装置工事配管技能検定会」に変更されている。

この検定会は、1年以上の給水装置工事实務経験と配水管の分岐穿孔及び給水管の接合等の技術に関する基本的な知識を既に有する者、又は工業高等学校等の卒業者で配管実技を履修している者等を対象としており、今回は51名（うち、当組合員企業から20名）が受検した。

当日は、事務局を与える当組合の千葉事務局長が司会を務め、はじめに給工財団の小日向謙教務部長と宮管連の堀政信専務理事（当組合理事）から挨拶があり、実技監督員の紹介の後、当組合工事部の佐瀬係長と工藤職員による分岐穿孔の模範実演が行われ、受検者はそれを参考にしながら課題に取り組んだ。

なお、検定内容は次のとおり。



宮管連 堀専務理事

【実技課程（120分）】

「配水管（ダクタイル鋳鉄管）へのサドル付分水栓の取付け」

「手動式穿孔機による配水管の分岐穿孔」

「給水管3管種（ポリエチレン二層管、硬質ポリ塩化ビニル管、硬質塩化ビニルライニング鋼管）の切断・接合・組立」

【学科課程（90分）】

「水道法」「水道水質」「給水管、継手、分水栓及び各種弁類」「給水装置工事」「道路上における給水装置工事」「水理学の基礎」



当組合構内の工事部棟前で実技課程が行われました

2025仙台市下水道フェア開催



ゲートにはウォッターくんが飾られました

日之出水道機器(株)と前澤化成工業(株)のメーカー2社に協力をいただき、組合役職員と合わせて9名体制でフェアを盛り上げた。当組合のブースでは、デザインマンホール蓋の模型展示と、おもちゃの釣り竿を使って空き缶を釣り上げる子供向けのゲームを準備、上手に釣り上げた人には、くじ引きで全国(ご当地デザイン)のマンホール型ペーパーウエイトやキーホルダー等をプレゼントしたところ、たくさんの子供たちから人気を集め、大賑わいだった。



開会式の様子



当組合のブースは大人気でした

10月4日(土)、仙台市青葉区の西公園で「2025仙台市下水道フェア」が開催された。このフェアは、下水道資機材や高圧洗浄車の展示、デザインマンホールのスタンプラリー、クイズなどを通じて、楽しみながら下水道と水環境について広く市民に知ってもらい、また、その重要性について考えてもらうイベントとして実施されている。

下水道フェア実行委員会の佐藤秀樹会長(仙台市建設局長)の挨拶の後、開幕時刻の午前10時になると多くの家族連れ等が詰め掛けた。

当組合は、上下水道委員会の神田和隆委員(有明和設備工業)と岩城貴大委員(株江陽工業)、そして、



佐藤会長

当日は天候にも恵まれ、さわやかな秋晴れのもと、井上理事長をはじめ多くの関係者の皆様から労いと励ましをいただき、業界のイメージアップと当組合のPRに努めた。



缶釣りの様子(右手前:神田委員、奥:岩城委員)

令和7年度宮管親善ゴルフコンペを開催

9月30日(火)、富谷市の富谷カントリークラブにおいて、令和7年度宮管親善ゴルフコンペを開催したところ、組合員及び取引先等56名が参加した。このコンペは、福利厚生事業として総務・厚生委員会が担当して実施した。

開会式は高田浩之委員（ウォーターワークス仙台㈱）の司会で進められ、井上理事長の挨拶と服部達彦副委員長（服部産業㈱）による競技方法の説明があった後、OUTとINコースの二手に分かれてスタートした。このゴルフ場は、仙台市の北隣の富谷市にあり、原地形は沢が入り組んだ複雑なものだったが、大量に土量を移動してかなりフラットな造形となっている。また、宮城県内の18Hコースとしては最も歴史がある丘陵コースである。当日は天候にも恵まれ、参加者はスポーツの秋を満喫しながらプレーを楽しんでいた。

ホールアウト後の表彰式では、はじめに菅原副理事長から挨拶があり、安達一昭委員（㈱安達工業）から成績発表が行われ、佐静建設㈱の佐藤健社長が見事優勝を果たした。

なお、結果は次のとおり。



菅原副理事長からトロフィーを受ける佐藤社長(右)

順位	氏名	会社名	OUT	IN	GROSS	HDCP	NET
優勝	佐藤 健	佐静建設㈱	49	41	90	16.8	73.2
準優勝	阿部 一貴	三豊工業㈱	52	51	103	28.8	74.2
第3位	清水 竜一	前澤工業㈱東北支店	50	52	102	27.6	74.4
第4位	寺島 学	積水化学工業㈱東北営業所	41	43	84	9.6	74.4
第5位	※佐藤 秀一	㈱大盛設備工業	44	39	83	8.4	74.6

※ベストグロス



参加者集合写真

令和7年度宮管親善ボウリング大会を開催

11月18日(火)、仙台市宮城野区のコロナキャットボウル仙台店において恒例の宮管親善ボウリング大会を開催したところ、組合員従業員16社88名が参加した。この大会は、福利厚生事業の一環として総務・厚生委員会が担当している。

大会開始時刻の午後6時30分、高田浩之委員(ウォーターワークス仙台㈱)の司会で開会し、はじめに井上理事長から挨拶があり、5分間の練習ボールの後、一斉にスタートした。会場内は、ストライクやスペアを取ってハイタッチして盛り上がる姿などが見られ、参加者は大いに楽しんでいた。

表彰式は、渡邊修一委員(有)今野設備工業)が成績発表を行い、松岡清一総務・厚生委員長(㈱松清産業)から入賞者へ賞品が手渡された。個人戦は、男性の部では、(㈱)安達工業の安達一昭社長が優勝し、女性の部では(㈱)安達工業の飯野幸江さんが優勝した。また、団体戦は(㈱)興盛工業所が栄冠を勝ち取った。大会は、服部達彦副委員長(服部産業㈱)の閉会の挨拶で終了した。

なお、結果は次頁のとおり。



開会式の様子



どのレーンでも楽しそうに盛り上がる様子が見られました

長年の経験・技術で水道事業に貢献致します。

水道用ゴム輪・フランジパッキン・ポリエチレンスリーブ・サンエコシート・埋設シート・管明示テープ・ロケータリングワイヤー



水道用ゴム輪



フランジパッキン



ポリスリーブ



溶剤浸透防護スリーブ



水圧試験機本体



折り畳み開栓機

日本水道協会第1種検査工場 ISO9001:2015(本社・滋賀工場)

ISO14001:2015(滋賀工場) 認定取得



サンエス護謨工業株式会社

仙台支店

〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井五丁目1番地の3

TEL 022-287-1601 FAX 022-287-5383

[個人戦：男性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	安達 一昭	(株)安達工業	195	209	404	20	424
準優勝	栗原 敏彦	(株)K O E I 仙台支店	189	146	335	20	355
第3位	橋場 元暉	(株)興盛工業所	170	167	337		337
第4位	前塚 芳貴	(株)安達工業	170	148	318		318
第5位	代田功太郎	山元工業(株)	168	143	311		311

[個人戦：女性の部]

順位	氏名	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	飯野 幸江	(株)安達工業	137	189	326	50	376
準優勝	西村 瑠亜	(株)安達工業	106	129	235	50	285
第3位	渡辺 留美	中央管工業(株)	94	131	225	50	275
第4位	高橋 静穂	(株)ヨネヤマ設備	91	102	193	50	243
第5位	石川 夢	(株)いづみ衛生施設工業	93	83	176	50	226



男性の部優勝の安達社長（左）



女性の部優勝の飯野さん（左）

[団体戦]

順位	会社名	1 G	2 G	TOTAL	HDCP	HD込
優勝	(株)興盛工業所	570	547	1117		1117
準優勝	熱研プラント工業(株)	549	541	1090		1090
第3位	山元工業(株)	543	509	1052		1052



団体戦優勝の(株)興盛工業所の皆さん

全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞 ～井上 環 理事長～



井上理事長


11月12日(水)、広島市の広島県立総合体育館（広島グリーンアリーナ）において、第77回中小企業団体全国大会が開催され、席上、当組合理事長の井上環氏（井上設備工業㈱ 代表取締役）が、永年にわたり中小企業の振興に寄与した功績が認められ全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞した。

誠におめでとうございます。



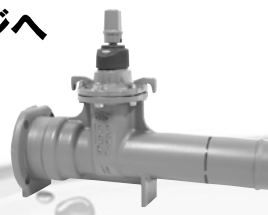
株式会社キッツエスジーエスとして新たなステージへ

株式会社清水合金製作所から社名を変更
さらに多くのお客様のニーズに応える
製品・ソリューションを提供してまいります。

SGSは  で社会に貢献する



マルチガスケット



GXソフト



PEXプラスキュー

 株式会社 **キッツエスジーエス**

仙台営業所 仙台市若林区河原町1-5-1 ハイツ河原町
TEL 022-217-1312 FAX 022-217-1320
本社(滋賀県彦根市)・東京・名古屋・大阪・札幌・仙台・中国四国・九州

令和7年度宮城県職業能力開発関係表彰式開催 ～宮城県知事感謝状 (株)加納工業所 福田幸穂氏～

11月25日(火)、仙台市青葉区の宮城県庁行政庁舎2階講堂において、宮城県、宮城県職業能力開発協会、宮城県技能士会連合会の共催による令和7年度宮城県職業能力開発関係表彰式が行われ、席上、福田幸穂氏(株)加納工業所 代表取締役)が、永年にわたり技能検定委員として尽力した功績が認められ、技能検定功労者として宮城県知事より感謝状が授与された。

また、(株)大盛設備工業の阿部宏一氏が、昨年度の第62回技能五輪全国大会で敢闘賞に入賞した功績により、宮城県青年技能者として宮城県知事表彰を受賞した。

表彰式では、宮城県知事(代理：小林徳光副知事)から式辞と、宮城県議会の高橋伸二議長から祝辞があった後、それぞれの受賞者に賞状と記念品が手渡された。

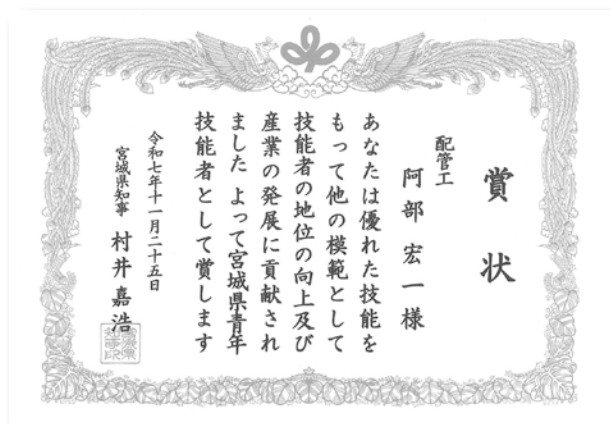
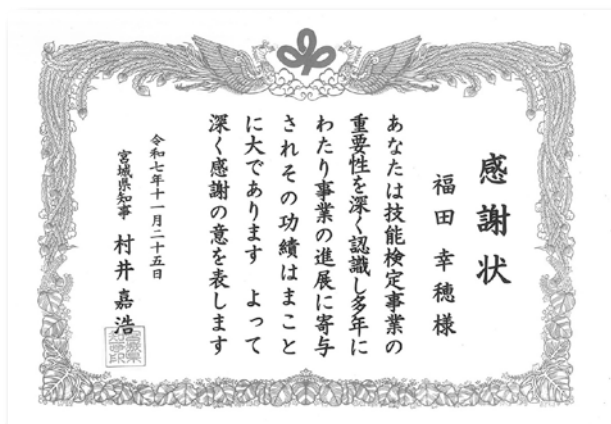
誠におめでとうございます。



(株)加納工業所 福田社長



(株)大盛設備工業 阿部氏



表彰式の様子

第53回仙台市技能功労者表彰を受賞 ～山元工業(株) 加藤 仁 氏～



山元工業(株) 加藤氏

の授与が行われた。最後に受賞者を代表して、加藤氏から「受賞に感謝し、今後も研鑽を続けていきたい」と謝辞が述べられた。

仙台市技能功労者は、仙台市内の事業所に勤務している技能者及び自営業者で、経験30年以上を有し、他の技能者の模範と認められた方が表彰されている。

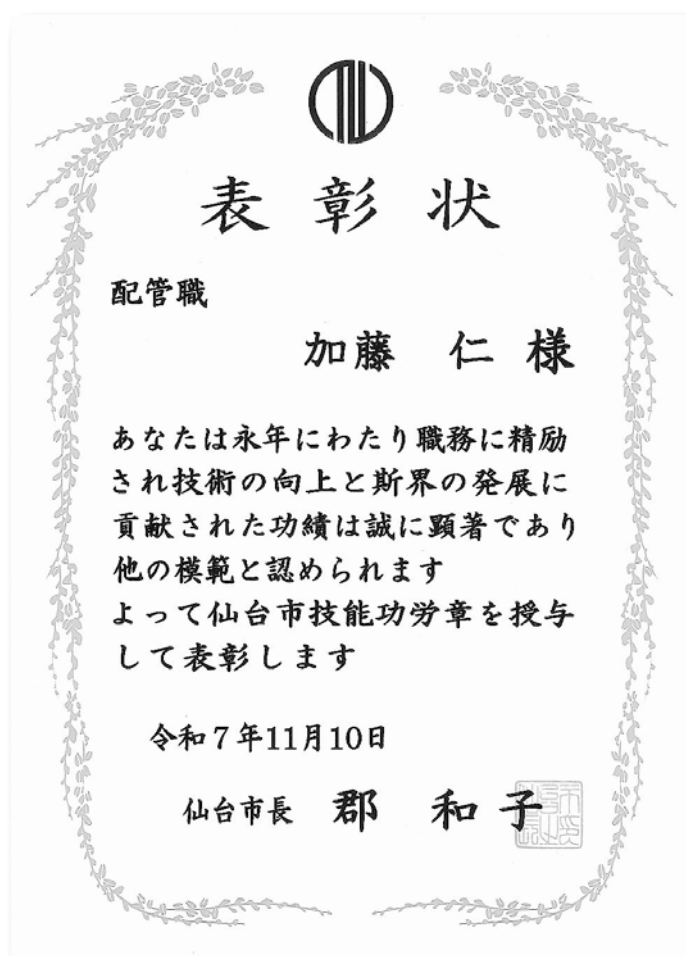
誠におめでとうございます。

11月10日(月)、仙台市宮城野区の仙台サンプラザにおいて、仙台市主催による第53回仙台市技能功労者表彰式が行われ、席上、当組合から推薦した組合員山元工業(株)の加藤仁氏が受賞した。

表彰式は、はじめに郡仙台市長の式辞があり、続いて、来賓を代表して仙台市議会議長(代理：加藤けんいち副議長)と仙台市技能職団体連絡協議会阿部忠会長による祝辞の後、21職種31名に対し、表彰状



郡市長から表彰状を受ける加藤氏



みやぎの建設技能グランプリ功労賞を受賞 ～(株)興盛工業所 井上 修 氏～



(株)興盛工業所 井上氏

井上氏は、一貫して管工事業に従事し、職長（配管工）として技能水準を高めながら業界の地位向上に寄与するとともに、自己研鑽に励みながら後進の指導育成に尽力し、その姿勢は他の模範となっている。また、1級配管技能士、配管技能者の最高資格と位置づけられている登録配管基幹技能者の資格を取得し、業界を代表する優秀な技能者であること等が高く評価され、今回の受賞となった。

誠におめでとうございます。

11月26日（水）、仙台市青葉区の宮城県建設産業会館において、令和7年度宮城県建設雇用改善推進大会が開催され、席上、組合員(株)興盛工業所の井上修氏がみやぎの建設技能グランプリ功労賞を受賞した。

この表彰は、優れた現場技能者を対象として、「ものづくり」に携わる者の誇りと意欲を喚起し、その能力と資質の向上を図り、もって建設業の健全な発展に寄与することを目的に（一社）宮城県建設業協会が行っているものである。



表彰の様子（左から3人目：井上氏）





職員研修旅行

宮城県管工業協同組合

常務理事 小川 憲 昭

先日、広報誌“みやかん”への原稿依頼がありました。「何でも構わないので」という事だったので、昨秋に職員研修旅行があり、大阪・関西万博に行かせてもらい、感動し、楽しい思い出が沢山出来ましたので、過去の職員研修旅行について書かせていただきます。

官管には職員互助会があり、毎月の給与から天引きで会費を積み立て、その積立金を活用して職員の冠婚葬祭や歓送迎会、職員研修旅行等が実施されます。互助会には会長、副会長、幹事、会計幹事、監査があり、2年任期で各部署より選出されます。勿論、参加は自由で、職員研修旅行に不参加の場合は、一定の金額が還付されます。旅行中は自由時間も多く、夜も宴会というよりはお食事会のような感じで、楽しい時間を過ごします。

昔々、私が新入職員の頃の研修旅行は、今とは全くの別物で、地獄で、旅行の時期になると嫌で嫌で仕方ありませんでした。当時は、総務部、資材部、工事が1年交代で幹事となり、行き先を決めるのですが、何処に行っても同じで、必ず事件が起こるし、朝から晩まで酒浸りです。

事件を話せばキリがありませんが、当時、寝台特急で東京に向かった時、朝方大宮に到着した際、寝台での浴衣とサンダルで下車し、鉄道公安員に連行された職員がいました。帰路、上野に到着した時に点呼を取ったら、3人程行方不明になり、当時は携帯も無く、何時間か探した後、公衆電話から自宅に電話すると、本人は自宅に帰って寝ていたということもありました。

当時の先輩方とはんでもない怪物達で、バスでの旅行の際はお酒が足りなくなると、高速道路から下りて酒屋を探させたり、高速道路の路肩にバスを止めさせ、立ち小便をしたりする人達でした。旅館に着くと、必ず先輩達に、当時の扇町所長の部屋の冷蔵庫からビールを盗みに行かされます。当時の旅行では必ず薬箱を持参します。何かあった時の事を考えてです。

極めつけは、伊豆の熱川バナナワニ園に行った時の事です。見学が終わり、旅館に着き、さて、お風呂と思った時、突然、先輩方が部屋に来て、「薬箱を持ってくるように」と言われ、先輩方の部屋に行ったところ、先輩のひとりが革靴の中から出血しておりました。話を聞くと、ワニに噛まれたとのことで、「まさか!？」と思いましたが、革靴にクッキリ歯型があり、慌てて救急車を呼んで、熱川日赤病院に運びました。大事には至りませんでした。医師にはかなり怒られましたし、熱川バナナワニ園に連絡したところ、「前日にエサを与えたのが幸いだった。空腹だったら足をもっていかれただろう」と言われました。その先輩方も亡くなったりしていますので、もう時効だと思い、今回書かせてもらいました。

そして、平成元年は職員研修旅行で初めて沖縄に行きました。当時はまだ英語表記の店も多く、ベトナム戦争関係の払い下げを扱う店が多く、お土産も米軍関係の物でいっぱいでした。この時の思い出としては、帰りにお金がなくなった当時18歳の鈴木資材部長に、空港でカレーをご馳走した事、また、一人の先輩が空港の売店にカメラを忘れ、離陸直前、飛行機を止めて、空港の貨物車両に乗せられ、カメラを取りに行った事の2つの出来事が特に印象に残っています。

職員研修旅行でのいろいろなことが思い出されますが、これからも、みんなと楽しい思い出を作っていきたいと思っています。



年金ってどう変わるの？ 令和7年改正をわかりやすく解説

北山F P 社会保険労務士事務所
代表 北山 茂 治

＜改正の大きな目的＞

令和7年度の改正は今後何年かに分かれて実施されます。今回の改正では次の3つを大切にしています。

- ・働き方の違いによって損をしない制度にすること。
- ・男女の差をなくして、どちらも安心して暮らせるようにすること。
- ・年金制度を長く続けられるようにすること。

事業主としては、「多様な働き方を支える仕組みづくり」「社会保険適用拡大への対応」「高齢社員の就業支援」などが重要なテーマとなります。

＜改正の主な内容＞

(1) パートやアルバイトも社会保険に入りやすくなります

今までは、週に20時間以上働いていても、年収106万円以上でないと厚生年金や健康保険に入れない場合があります。

また、会社の従業員数が「51人以上」でないと対象にならないというルールもありました。このルールが、段階的になくなっていきます。令和9年（2027年）から少しずつ企業規模の条件をなくし、令和17年（2035年）にはすべての会社が対象になります。

さらに、農業や飲食業などの個人事業所も社会保険の対象になります。これまでは対象外だった業種でも、5人以上の従業員がいれば加入できるようになります。ただし、保険料を払うと手取りが少し減るため、国が3年間の軽減措置を設けて支援します。

事業主（企業）には、キャリアアップ助成金（社会保険適用時処遇改善コース）があります。他に短時間労働者労働時間延長支援コースが新設されました（令和7年7月1日）。他にも事業主あての助成策が検討されているようです。

(2) 働きながら年金を受け取りやすくなります

65歳を過ぎても働く人が増えています。今までは、給料と年金の合計が月50万円（令和7年度は51万円）を超えると、年金の一部が減らされる仕組みがありました。しかし、これでは「働く」と損だ！と思う人も出てしまいます。そこで、支給が減る基準を50万円から62万円に引き上げることになりました（令和8年4月から）。これにより、約20万人の人が新たに年金を全額受け取れるようになります。高齢者が安心して働き続けられるようになる制度です。

企業としては、高齢社員の就業継続がしやすくなり、経験やスキルを活かせる体制づくりが可能になるだけでなく、人手不足対策としても有効です。

(3) 遺族年金の男女の差をなくします

これまで遺族厚生年金は、主に夫を亡くした妻が受け取る仕組みでした。しかし今後は、妻だけでなく夫も受け取れるように変わります。子どもがいなかった場合は、原則5年間の有期給付になりますが、生活が苦しい場合は5年後も給付が続くようになります。

また、亡くなった配偶者の年金の一部を自分の年金に加えられる「死亡分割制度」も新しく導入さ

れます。年収の上限もなくなり、これまで対象外だった人にも広がります。つまり、男女どちらが亡くなっても、残された人が生活に困らないようにする仕組みです。

企業にとっては、ジェンダー平等を重視する企業姿勢のアピールにもつながります。

(4) 給料の高い人の上限を見直します

年金や保険料の計算に使う「標準報酬月額」という基準の上限が、これまでの65万円から75万円に引き上げられます。68万円（2027年）、71万円（2028年）、75万円（2029年）と、3年かけて段階的に上がります。給料の高い人は負担も少し増えますが、その分年金も多くもらえるようになります。

また、全体の年金財政が良くなることで、ほかの人の年金水準も少しずつ底上げされます。

企業にとっては、高収入社員の保険料負担は増えますが、社員の将来の年金受給額が上がります。

(5) 基礎年金の水準を下げすぎない工夫

将来、物価や給料の変化によって基礎年金が減りすぎないように、厚生年金と同時に調整を終える仕組みをつくります。

もし格差が大きくなったときは、国が制度を見直してバランスを取ります。若い世代にも、将来の年金がしっかり支えられるようにするための仕組みです。

企業としては、将来の制度安定性が高まり、従業員への説明や採用広報で「安心感」を訴求できます。

(6) iDeCo（イデコ）の加入年齢を広げます

iDeCo（個人型確定拠出年金）は、自分でお金を積み立てて老後に備える制度です。今後は70歳未満まで加入できるようになります。定年を過ぎても働く人が増えている今、より長く老後資金を準備できるようにする目的です。

企業にとっては、企業型DC（企業型確定拠出年金）との併用や、福利厚生制度の見直しチャンスです。

(7) そのほかの見直し

子どもの加給年金の支給額が増額され、子育て家庭の支援を強化します。

外国人が脱退一時金を受け取る場合、再入国期間中は請求できないようになります。

年金の自動調整（マクロ経済スライド）も次の検証まで続きます。

<改正のスケジュール（主な時期）>

年度	内容
令和8年（2026年）	在職老齢年金の見直しスタート
令和9年（2027年）	パート労働者の拡大、報酬上限68万円に
令和10年（2028年）	遺族年金の男女差解消、有期給付導入
令和11年（2029年）	報酬上限75万円、個人事業所の適用拡大
令和17年（2035年）	企業規模の条件撤廃が完了

<まとめ>

この年金制度の改正は、「どんな働き方でも、男女を問わず、安心して老後を迎えられる社会をつくる」ためのものです。

企業にとっては、雇用制度の見直し、助成金や支援制度の活用、社員への情報提供と教育が求められます。年金制度はもはや「国任せ」ではなく、企業・個人・国がそれぞれ支え合う「共助の仕組み」へと進化しています。

この改正をきっかけに、自社の人事・雇用制度を再点検し、「社員に選ばれる会社づくり」を進めるチャンスです。

令和7年度宮城県内管工事業協同組合青年部 合同秋季研修会に参加して



本協会会長

交流事業委員 渡辺 悠斗（中央管工業㈱）

9月27日（土）、県内青年部秋季移動研修会が仙台市青葉区のホテルグランテラス仙台国分町にて開催され、石巻広域管工事業協同組合青年部11名、大崎市管工事業協同組合青年部9名、登米市管工事業協同組合青年部4名、当会14名の会員等計38名が参加しました。本研修会は二部構成で、経営や人手不足に関する知見とビジネスにおける身だしなみの両面から学びを深める機会となりました。

はじめに当会の本協会会長から挨拶があった後、第一部では、「人手不足を乗り越える経営に違いをつける」をテーマに、㈱プラスバイプラスの清水宏敏氏と浦本和典氏を迎えて講演いただきました。現在、担い手不足が深刻化する中、人材の確保と定着は建設業界においても大きな課題となっています。お二人からは、単なる人員補充にとどまらず、既存人材の力を最大限に引き出す仕組みづくりの重要性が示されました。

具体的には、業務プロセスの見直しによる効率化、従業員の強みを生かした最適な業務配置、さらに「解釈を事実落とし込み、抱える問題や疑問にどのようにアプローチするか」といった視点が提示され、実際の事例を交えた解説は非常に具体的で、参加者は熱心に耳を傾けておりました。

続く第二部では、「勝てる戦闘服」をテーマに㈱Vicamoの海山由紀氏と杉沼麻衣氏より講演をいただきました。ビジネスの場において第一印象が持つ影響力について、心理的な側面と具体的な事例を交えて解説されました。スーツは単なる服装ではなく、自身の姿勢や信頼感を相手に伝える「戦闘服」であるとの考え方が示され、参加者は深く頷きながら熱心に聴講しておりました。

講演では、着こなしにおけるNG例、色を与える心理的効果など細部にわたる工夫や知見が紹介されました。装いを通じた自己表現や他者への影響について理解を深めることで、参加者一人ひとりが今後の「戦闘服」選びに活かせる学びとなりました。また、パーソナルカラー診断や本日のファッションチェックでは大きな盛り上がりを見せ、楽しみながら実践的な学びを得ることができました。

最後に、本研修会の開催にあたりご尽力いただきました関係各位、ならびにご多忙の中ご講演を賜りました㈱プラスバイプラスの清水氏と浦本氏、㈱Vicamoの海山氏と杉沼氏に心より御礼申し上げます。参加者にとって大きな気づきと学びの場となった本研修会で得た経験を胸に、日々の実践を通じて着実に形にし、次なる成長へとつなげてまいりたいと存じます。



研修会の様子



集合写真

ボランティア事業を開催して



八木山動物公園 門間園長

子ウォーキングイベント等の他行事も開催されており、来園されるお客様が多く、賑わっている中での作業開始となりました。

水栓のパッキン交換と雨水桝清掃の各班に分かれ、パッキン交換では園の管理の方と普段の業務の中で、水道について気になる箇所などを聞きながら決められた作業箇所をまわりました。桝清掃では秋ということで落ち葉等もありましたが、交代しながら桝の中へ入り、スコップを使って一生懸命作業しました。作業がスムーズに進んだことで予定より多くの場所の清掃ができ、回収した土嚢袋は33個になりました。



桝清掃の様子

閉会式では、門間園長、大友管理課長より「毎年大変助かっています。来年もぜひお願いしたいです」との嬉しいお言葉を頂き、大変励みになりました。

今回のボランティア事業は私自身2回目の参加でしたが、来年もまた地域に貢献できるようボランティア事業に参加させていただきたいと思っております。

最後になりますが、ご参加いただいた会員の方々、お忙しい中計画して下さった実行委員の皆様、心より感謝申し上げます。

企画事業委員 荒 悠大 (株)荒設備工業)

11月22日(土)、仙台市八木山動物公園においてボランティア事業を開催し、会員10名が参加しました。

開会式では、はじめに本山会長の挨拶があり、八木山動物公園の門間園長に挨拶をいただいた後、阿部瑞樹実行委員長(株伊藤工業所)から注意事項やスケジュール等の説明がありました。当日は親



パッキン交換の様子

なお、クマの展示の前では、今年仙台市内でも出沒し全国で話題となっているツキノワグマについて飼育員の方から話を聞くイベントが予定されており、残念ながら私は聞くことができませんでしたが、クマの習性などを学び、今後の対策を考え、実行していくことで被害の減少につながるのではないかと感じました。



集合写真

組 合 の う ご き

9月3日(水)・令和7年度後期技能検定試験実施計画説明会に中野調整係員出席

9月9日(火)・広報委員会開催

①“みやかん” 清秋号の発刊について

②“みやかん” 新春号寄稿者の選定について

9月10日(水)・(株)宮城県管工事会館役員会に井上理事長、菅原・小林両副理事長外出席

9月11日(木)・9月度理事会開催

※報告事項

①庶務報告

②共同事業実績報告

③広報委員会報告

④水道フェア2025出展報告

⑤令和7年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合せ報告

⑥有機溶剤作業主任者技能講習会実施報告

※協議事項

①仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情について

※その他

①「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について

②令和7年度中間棚卸しの実施予定

9月19日(金)・宮城県建設産業団体連合会団体長会議に井上理事長出席

・令和7年度「配水管及び給水装置修繕工事」にかかる安全衛生協議会を书面開催

・令和7年度中間棚卸しを実施

9月20日(土)・青下の杜プロジェクト森林保全作業（間伐）に組合役員と青年部会員等8名参加

9月24日(水)・全管連令和7年度全国大会・記念講演・懇親会（北海道札幌市開催）に井上理事長、渡辺常任相談役外出席

9月26日(金)・令和7年度給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会を開催、組合員従業員等13名
～27日(土) 受講

9月30日(火)・令和7年度宮管親善ゴルフコンペを開催、組合員・取引メーカー等56名参加

10月2日(木)・第31回宮管・管工事機材展示会出展説明会開催

10月4日(土)・2025仙台市下水道フェア開会式に井上理事長外出席、当組合ブースの運営に上下水道委員会の神田委員、岩城委員外が従事

10月7日(火)・令和7年度給水装置工事配管技能検定会開催、組合員従業員等51名受検
～8日(水)

10月9日(木)・10月度理事会開催

※報告事項

①庶務報告

②共同事業実績報告

③令和7年度中間棚卸し結果報告

④給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告

⑤宮管親善ゴルフコンペ実施報告

⑥2025仙台市下水道フェア出展報告

⑦青下の杜プロジェクト「間伐活動」参加報告

⑧顧問弁護士の現契約期間満了について

⑨職員の退職について

※その他

①11月度役員会開催日程の変更について

②令和8年新年祝賀会の開催日程について

③令和7年度5都市合同防災訓練への参加について

10月10日(金)・仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情会に井上理事長外出席

10月15日(水)・資材委員会開催

①令和7年9月迄の資材販売実績報告

②第31回宮管・管工事機材展示会について

10月17日(金)・全管連臨時総会、第364回理事会及び各部会打合せに井上理事長出席

10月21日(火)・第51回全管連東北ブロック支部長会議（山形県山形市開催）に井上理事長外出席

・令和7年度随時実施技能検定（建築配管・プラント配管）実技試験が実施され、藤岡正行会長（㈱アトマックス）と相澤十四男社長（㈱相澤設備）が技能検定委員として運営にあたる

10月23日(木)・安全運転管理者等講習に菊地(伸)営業課長、三浦(智)工事課長出席

10月24日(金)・令和7年度宮管地区連絡会青葉ブロック会議を開催、会員等19名出席

10月27日(月)・令和7年度宮管地区連絡会泉ブロック会議を開催、会員等21名出席

10月29日(水)・令和7年度第2・四半期監査会開催

・令和7年度宮管地区連絡会宮城野・若林・太白ブロック合同会議を開催、会員等36名出席

10月30日(木)・2025広島水道展に井上理事長、小川常務理事出席

・令和7年度「配水管及び給水装置修繕工事」にかかる安全衛生協議会を书面開催

10月31日(金)・第32回暴力団追放宮城県民大会に井上経理係員出席

11月4日(火)・令和7年度5都市合同防災訓練事前打合せに堀理事出席

11月4日(火)・宮城県白石工業高等学校配水管技能講習会に井上理事長外出席

～5日(水)

11月5日(水)・仙台市水道水分神社祭に井上理事長、吉田専務理事外出席

・令和7年度後期技能検定実技試験に係る打合会に小島修繕センター部長外出席

11月7日(金)・2025仙台市下水道フェア第24回川柳コンクール及び第3回デザインマンホールコンテスト表彰式に井上理事長出席

・令和7年度宮城県水道DXセミナーに堀理事外出席

11月10日(月)・上下水道委員会開催

※報告事項

①令和7年度工事事業の予算と上半期実績（4月～9月分）

②水道フェア2025報告

③2025仙台市下水道フェア報告

※協議事項

①4者間（水道局・建設局・水道サービス公社・上下水道委員会）意見交換会の開催について

・第53回仙台市技能功労者表彰式が開催され、組合員山元工業(株)の加藤仁氏が同表彰を受賞

11月12日(水)・11月度役員会開催

※報告事項

- ①庶務報告
- ②共同事業実績報告
- ③上下水道委員会報告
- ④資材委員会報告
- ⑤令和7年度技能検定実技試験の実施について
- ⑥令和7年度技能向上訓練（実技・学科部門講習会）の実施について
- ⑦令和7年度宮城県知事表彰・仙台市技能功労者表彰受賞者報告
- ⑧第2・四半期決算報告
- ⑨第2・四半期監査報告
- ⑩令和7年度地区連絡会ブロック会議報告
- ⑪令和7年度配水管技能講習会実施報告
- ⑫職員の採用について

※協議事項

- ①仙台市営バスへの広告掲出延長について
- ②令和8年新年祝賀会について
- ③弁護士との新規顧問契約について

・第77回中小企業団体全国大会において、井上理事長が全国中小企業団体中央会会長表彰を受賞

・令和7年度5都市合同防災訓練に伴う情報伝達訓練に堀理事対応

11月13日(木)・令和7年度5都市合同防災訓練に組合員等42名・組合役職員9名参加

11月18日(火)・(株)宮城県管工事会館監査役会に吉田専務理事、武田監事出席

・令和7年度組合親善ボウリング大会を開催、組合員従業員等88名参加

11月20日(木)・東北配管工事業協同組合令和7年度合同例会及び懇親会に井上理事長、小川常務理事出席

11月25日(火)・令和7年度宮城県職業能力開発関係表彰式に千葉事務局長出席、席上、技能検定功労者として福田幸穂社長（(株)加納工業所）が宮城県知事感謝状、また、組合員(株)大盛設備工業の阿部宏一氏が宮城県青年技能者表彰をそれぞれ受賞

11月26日(水)・令和7年度宮城県建設雇用改善推進大会に堀理事外出席、席上、組合員(株)興盛工業所の井上修氏が第31回みやぎの建設技能グランプリ功労賞を受賞

11月27日(木)・令和7年度「配水管及び給水装置修繕工事」にかかる道路内修繕担当組合員代表者会議並びに安全衛生協議会に当該担当組合員6社出席

11月28日(金)・第31回宮管・管工事機材展示会を開催、組合員等601名来場

12月2日(火)・上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・公益財団法人仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会開催

12月3日(水)・(株)宮城県管工事会館役員会に井上理事長、菅原・小林両副理事長外出席

・宮管連令和7年度事務局研修会に吉田専務理事、小川常務理事、堀理事外出席

・建設業法令遵守講習会に櫻井総務係長出席

12月4日(木)・全管連第55回総務部会に井上理事長出席

12月9日(火)・令和7年度後期技能検定委員等打合せ会に藤岡正行会長(株)アトマックス)、相澤十四男社長（(株)相澤設備）、福田幸穂社長（(株)加納工業所）、小島修繕センター部長外出席

12月10日(水)・「みやぎ建設産業架け橋サロン」が宮城県白石工業高等学校で開催され、(株)いづみ衛

生施設工業の石川昂由氏がコーディネーターとして出席

12月11日(木)・12月度役員会開催

※報告事項

- ①庶務報告
- ②共同事業実績報告
- ③上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・公益財団法人仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会について
- ④令和7年度親善ボウリング大会報告
- ⑤第31回宮管・管工事機材展示会実施報告
- ⑥令和7年度年末年始及び寒波時における修繕体制について
- ⑦仙台市指定給水装置工事事業者の新規指定並びに排水設備工事事業者の新規承認について
- ⑧顧問税理士の委託期間満了に伴う契約更新について
- ⑨令和7年度5都市合同防災訓練参加報告

※その他

- ①年末年始休業について
- ②年末一時金の支給について

・役員懇談会開催

12月12日(金)・令和7年度宮城県建設雇用改善推進対策会議に井上理事長、堀理事出席

12月15日(月)・宮城県官公需適格組合連絡協議会受注対策セミナー及び懇親会に井上理事長出席

・令和7年度「配水管及び給水装置修繕工事」にかかる安全衛生協議会を书面開催

12月30日(火)・年末年始休業

～1月4日(日)

株式会社 **キッツ** の 給水装置用製品

- サドル付分水栓
- ボール止水栓
- 甲形止水栓
- 逆流防止弁
- 青銅製継手
- 水道用ポリエチレン管金属継手(KCPジョイント)
- 塩ビ管用伸縮可とう式継手(ルークジョイント)
- フレキシブル継手
- 給水・給湯樹脂管用ワンタッチ継手(クリアロックS)
- メータユニット



■お問い合わせは
東北営業所
〒980-0811
仙台市青葉区一番町2-7-17 朝日生命仙台一番町ビル
☎022-224-5335 Fax 022-224-5336
ホームページ <https://www.kitz.co.jp>

クボタスマート水道工事システム
PIPROFESSOR



For Earth, For Life
くぼた

施工情報システムⅡ

株式会社 **クボタ** バイブシステム事業部
www.kubota.co.jp

お問い合わせ先: kbt_ex.sj-helpdesk@kubota.com

組合員のうごき

○組合員代表者変更

有限会社 永洗設備 (No.184)

【令和7年8月31日付】



新 代表取締役 霜山 利広
前 代表取締役 霜山 永廣

旭洋設備工業 株式会社 (No.202)

【令和7年9月1日付】



新 代表取締役 及川 博仁
前 代表取締役 及川 博之

株式会社 平設備興業 (No.71)

【令和7年11月11日付】



新 代表取締役 佐藤 和宏
前 代表取締役 鹿野 恭平

ひとつの金具がすべてを変える

らく吊[®]X



「抜群の施工性」
ナットを外さずに施工ができます。
配管吊り込み時にパイプの
調整が楽にできます。

「向上した安全性」
3つ（揺れ防止・外れ防止・目視確認）
の新機構で実現した、
これまでに無い安全性。

「施工のスピードが速く、かつ、安全と安心を実現」

理事（役員）会報告

－ 9 月度理事会－

1. 日 時 令和 7 年 9 月 11 日 (木) 15 : 00 ～ 15 : 30
2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3 階 研修室
3. 出席者 理 事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事・郷古理事
大浦理事・服部理事・堀理事・大泉理事 計 13 名
事務局 千葉事務局長・須藤事務長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長
阿部経理課長 計 5 名
4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の 8 月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について 8 月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③広報委員会報告

小野広報委員長より、広報誌「みやかん」清秋号掲載予定記事の内容審議を行った旨が報告され、一同了承した。

④水道フェア2025出展報告

郷古上下水道委員長より、8 月 19 日に開催された首題フェアについて、当組合の出展内容と当日の様子等が報告され、一同了承した。

⑤令和 7 年度地区連絡会各ブロック代表者等による全体打合会報告

千葉事務局長より、8 月 22 日に開催した首題打合会での協議内容と出席組合員に対する助成金について、また、後日決定した各会議の開催予定日時と場所等が報告され、一同了承した。

⑥有機溶剤作業主任者技能講習会実施報告

松岡総務・厚生委員長より、8 月 6 日と 7 日の 2 日間にわたり開催した首題講習会について、受講者数とその内訳及び収支結果等が報告され、一同了承した。

※協議事項

①仙台市水道局（水道事業管理者）への陳情について

吉田専務理事より、10 月 10 日に予定している首題陳情について、当日の出席予定者、陳情の項目とその内容の原案が図られ、一同了承した。

※その他

①「みやぎ建設産業架け橋サロン」への講師派遣推薦依頼について

千葉事務局長より、宮城県土木部事業管理課から依頼があった首題の件について、白石工業高等学校へ派遣する講師の推薦案が説明され、一同了承した。

②令和7年度中間棚卸しの実施予定

鈴木資材部長より、首題の件について、9月19日に通常営業しながら実施する旨が説明され、一同了承した。

－10月度理事会－

1. 日 時 令和7年10月9日(木)15:00～15:45

2. 場 所 宮城県管工業協同組合 3階 研修室

3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・相澤理事・服部理事
堀理事・大泉理事

計11名

事務局 千葉事務局長・須藤事務長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長
阿部経理課長

計5名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の9月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について9月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③令和7年度中間棚卸し結果報告

小川常務理事より、9月19日に実施した中間棚卸しの結果について、資材・工事の在庫状況が報告され、一同了承した。

④給水装置工事主任技術者試験受験準備講習会実施報告

服部総務・厚生副委員長より、9月26日と27日に開催した首題講習会について、受講者数や収支等が報告され、一同了承した。

⑤宮管親善ゴルフコンペ実施報告

服部総務・厚生副委員長より、9月30日に開催した首題コンペについて、参加者数、上位成績者、収支等が報告され、一同了承した。

⑥2025仙台市下水道フェア出展報告

相澤上下水道副委員長より、10月4日に開催された首題フェアについて、当組合の出展内容や従事者等が報告され、一同了承した。

⑦青下の杜プロジェクト「間伐活動」参加報告

堀理事より、9月20日に実施された首題活動について、協力いただいた組合青年部からの参加者や当日の様子等が報告され、一同了承した。

⑧顧問弁護士の現契約期間満了について

吉田専務理事より、令和7年10月31日をもって現契約期間が満了する当組合顧問弁護士より、健康上の理由による更新辞退の申し入れがあったこと、後任の顧問弁護士については決定次第あらためて報告したい旨が説明され、一同了承した。

⑨職員の退職について

吉田専務理事より、総務部配属職員の9月30日付退職について報告され、一同了承した。

※その他

①11月度役員会開催日程の変更について

千葉事務局長より、11月度役員会の開催日を11月12日(水)へ変更したい旨が説明され、一同了承した。

②令和8年新年祝賀会の開催日程について

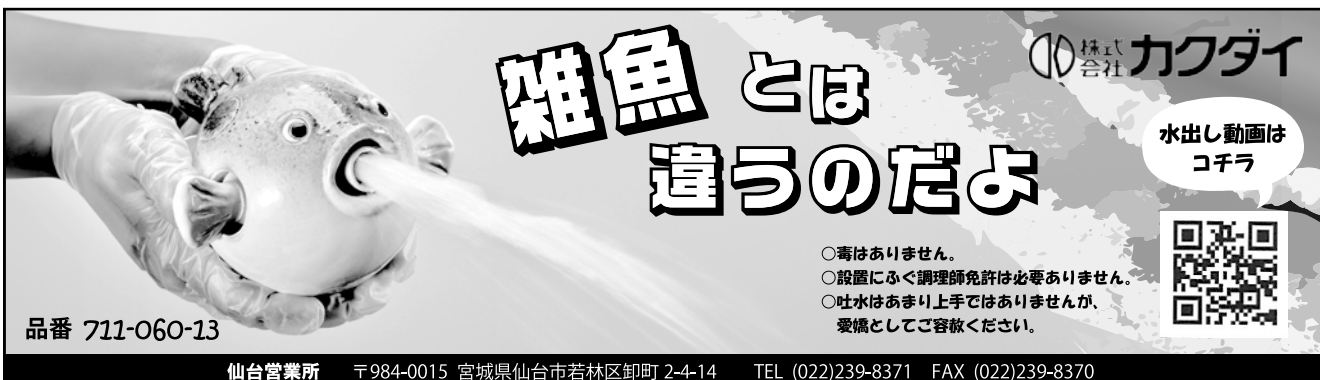
千葉事務局長より、首題の新年祝賀会を1月22日(木)午後5時30分から江陽グランドホテルで行う予定である旨が説明され、一同了承した。

③令和7年度5都市合同防災訓練への参加について

堀理事より、11月13日に予定している首題防災訓練について、当組合への協力要請の内容と参加者予定者等について説明され、一同了承した。

－11月度役員会－

- | | | |
|--------|--|------|
| 1. 日 時 | 令和7年11月12日(水)15:00～16:10 | |
| 2. 場 所 | 宮城県管工業協同組合 3階 研修室 | |
| 3. 出席者 | 理 事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事・郷古理事
相澤理事・大浦理事・服部理事・堀理事 | 計13名 |
| | 監 事 武田監事・三浦監事 | 計2名 |
| | 事務局 須藤事務長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長・阿部経理課長 | 計4名 |



雑魚とは違うのだよ

株式会社 カクダイ

水出し動画は
コチラ

品番 711-060-13

○毒はありません。
○設置にふく調理師免許は必要ありません。
○吐水はあまり上手ではありませんが、
愛嬌としてご容赦ください。

仙台営業所 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町2-4-14 TEL (022)239-8371 FAX (022)239-8370

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

吉田専務理事より、組合の10月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について10月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道委員会報告

郷古上下水道委員長より、11月10日に開催した首題委員会において、令和7年度9月分迄の工事業実績と水道フェア2025並びに2025下水道フェアへの出展参画について報告した旨、次いで12月2日に行う4者間（仙台市水道局・同建設局・（公財）仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会の予定議題等について説明され、一同了承した。

④資材委員会報告

渡辺資材委員長より、10月15日に開催した首題委員会において、まず令和7年度9月分迄の資材販売実績を報告した旨、次いで11月28日に予定している第31回宮管・管工事機材展示会の実施要領、出展社数、予算等について協議した旨が報告され、一同了承した。

⑤令和7年度技能検定実技試験の実施について

⑥令和7年度技能向上訓練（実技・学科部門講習会）の実施について

小島修繕センター部長より、令和8年1月10日と1月30～31日、及び2月5日に予定されている首題の建築配管実技試験について、例年どおり試験事業の一部を受託して実施されることが報告され、一同了承した。また、その受検準備講習会を兼ねた技能向上訓練の実施予定〔学科講習1・2級合同／令和8年1月10日～11日、実技講習1級／令和8年1月17日・同2級／令和8年1月18日〕と収支予算等が説明され、一同了承した。

⑦令和7年度宮城県知事表彰・仙台市技能功労者表彰受賞者報告

吉田専務理事より、首題の受賞者について次のとおり報告され、一同了承した。

令和7年度宮城県知事表彰（技能検定功労者）

福田 幸穂氏（株）加納工業所 表彰式：令和7年11月25日

令和7年度仙台市技能功労者表彰

加藤 仁氏（山元工業株） 表彰式：令和7年11月10日

Debut!

スタイリッシュなブラックスタイルで魅せる不凍水栓柱

Black Style

株式会社 外村製作所

〒983-0034 仙台市宮城野区扇町5-9-18 TEL 022-238-9110 FAX 022-238-9290



アイスマール
オールブラック
※2025年夏発売予定

アイスルージュHB

⑧第2・四半期決算報告

⑨第2・四半期監査報告

阿部経理課長より、第2・四半期（令和7年4月1日～令和7年9月20日）の決算内容が報告された後、武田監事より、監査の結果について適正に会計処理されている旨が報告され、一同了承した。

⑩令和7年度地区連絡会ブロック会議報告

吉田専務理事より、3回に分けて開催した今年度のブロック会議について、各出席者、費用、会議内容等が報告され、会議記録を後日組合員へ送付して内容を周知することで一同了承した。

⑪令和7年度配水管技能講習会実施報告

鈴木資材部長より、11月4日と5日に白石工業高等学校で実施した首題講習会について、講師、講習内容、収支等が報告され、一同了承した。

⑫職員の採用について

吉田専務理事より、令和8年度新規採用内定者1名について報告されるとともに、引き続き必要人員の募集を継続することで一同了承した。

※協議事項

①仙台市営バスへの広告掲出延長について

阿部経理課長より、令和8年1月14日で1年間の現契約が満了する市営バスへの広告掲出について、向こう1年間従前同様の5台で延長したい旨が提案され、一同了承した。

②令和8年新年祝賀会について

吉田専務理事より、令和8年1月22日に江陽グランドホテルにおいて予定している新年祝賀会の開催案について説明され、一同了承した。

③弁護士との新規顧問契約について

吉田専務理事より、仙台弁護士協同組合を通じて紹介された弁護士と新たに顧問委託契約を結びたい旨が提案され、一同了承した。

※その他

鈴木資材部長より、11月28日開催の第31回宮管・管工事機材展示会について案内された。

ライフラインを支える使命

人々の暮らしを守る技術がマエザワにあります。



前澤工業株式会社

東北支店

〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡三丁目4番1号 TEL (022)298-7611

www.maezawa.co.jp

－12月度役員会－

1. 日 時 令和7年12月11日(木)16:00～16:40
2. 場 所 仙台国際ホテル 6階 楓
3. 出席者 理事 井上理事長・菅原副理事長・小林副理事長・吉田専務理事
小川常務理事・松岡理事・小野理事・渡辺理事・郷古理事・相澤理事
大浦理事・服部理事・堀理事・大泉理事 計14名
監 事 三浦監事 計1名
事務局 千葉事務局長・須藤事務長・小島修繕センター部長・鈴木資材部長
阿部経理課長 計5名

4. 議題及び議事経過

※報告事項

①庶務報告

千葉事務局長より、組合の11月の主な会議及び行事等について報告され、一同了承した。

②共同事業実績報告

小川常務理事より、資材と工事の各共同事業について11月度の実績と予算比、及び前年比等が報告され、一同了承した。

③上下水道に関する4者間（仙台市水道局・同建設局・（公財）仙台市水道サービス公社・宮管上下水道委員会）意見交換会について

郷古上下水道委員長より、12月2日に開催した首題意見交換会について、当日の出席者、協議内容、当局から示された回答等が報告され、一同了承した。

④令和7年度親善ボウリング大会報告

松岡総務・厚生委員長より、11月18日に開催した首題大会の参加者数や費用等について報告され、一同了承した。

⑤第31回宮管・管工事機材展示会実施報告

渡辺資材委員長より、11月28日に開催した首題展示会の出展者数、来場者数、販売額、収支等が報告され、一同了承した。

⑥令和7年度年末年始及び寒波時における修繕体制について

小島修繕センター部長より、令和7年12月29日～令和8年1月3日迄の年末年始期間における修繕の配置体制と今冬の寒波時における対応について説明され、一同了承した。

⑦仙台市指定給水装置工事事業者の新規指定並びに排水設備工事事業者の新規承認について

千葉事務局長より、仙台市指定給水装置工事事業者として令和7年8月から11月末までの間に6社が新たに指定を受けた一方、4社が指定廃止となったほか、15社が指定効力を失効したため、11月末現在の指定業者数が499社になったこと、また、仙台市公認排水設備工事事業者として令和7年12月1日付けで新たに1社が承認された一方、期間中に1社が承認取消になったため、同日現在の公認業者数が377社になっていることが報告され、一同了承した。

⑧顧問税理士の委託期間満了に伴う契約更新について

阿部経理課長より、委託期間が満了する顧問税理士との契約について、従前同様の条件で向こう2年間の契約更新をしたい旨が説明され、一同了承した。

⑨令和7年度5都市合同防災訓練参加報告

堀理事より、11月12日から14日まで実施された首題訓練の概要と、当組合が参加した13日の訓練内容、当日の様子等が報告され、一同了承した。

※その他

①年末年始休業について

千葉事務局長より、今年度の年末年始休業について、令和7年12月30日（火）から令和8年1月4日（日）迄とする旨が説明され、一同了承した。

②年末一時金の支給について

吉田専務理事より、今春の労使協定に基づき支給する年末一時金について報告され、一同了承した。

職員の人事

○退職

小林 東暉 総務部総務課総務係

【令和7年9月30日付】

火無し工法だから、

1. ロウ付け不要
2. 施工時間を短縮
3. 火災・火傷の心配なし

ワンタッチ継手だから、

4. 特殊技能不要・締付け工具不要

「冷媒銅管用 ワンタッチ継手」

エフ-1

ワン

流体をコントロールするのが仕事です。

株式会社 タブチ

商品のお問合せは 専用回線 ☎06-6708-1051

受付時間：平日 9時～12時・13時～17時（土日祝日 弊社休業日は除く）



僕の尊敬する『カズさん』

(有)明和設備工業 代表取締役
宮城県管工業協同組合
上下水道委員 神 田 和 隆

僕が世の中で一番尊敬する人物(両親、家族を除く)は、『カズさん』です。我々の業界にも『カズさん』はいますが、僕が尊敬するのはプロサッカー選手の『三浦知良さん』です。もちろん、こっちの『カズさん』も尊敬はしております(笑)

あっちの『カズさん』は、今から30年以上前に僕がまだ学生の頃にJリーグが発足して、そのJリーグのMVPにもなり、日本代表のエースとして活躍されておりました。当時は日本代表がまだW杯に出場したことが無く、ドーハの悲劇を経て、ようやくフランスW杯に出場する権利を獲得しました。そのW杯開幕直前で日本代表メンバーから外されるという事件がありました。僕はサッカーにはあまり詳しくないので、あっちの『カズさん』の調子や実力が足りなかったとかは分かりませんが、あの大スターをメンバーから外すという事実が信じられませんでした。ただ、年齢的なものもあり、勝手に『カズさん』はこれで引退かなと思っていました。

僕はW杯以外はほとんどサッカーを見ないにわかファンなので、それから数年がたったある日、たまたま見ていたニュースで『カズさん』が、40歳を過ぎても現役でやっているのを見ました。その時は、「あの時、引退してコメンテーターや指導者などの道を選んでおけば、もっと収入があってカッコよかったのではないかな～」などと他人事として見ておりました。

しかし、それからさらに数年が経ち、50歳を超えても現役にこだわる『カズさん』の特集を観て、「この人は、周りの目も気にせず自分のやりたいことを貫き通す凄い人なんだ」と感動しました。それからは、ボロボロになって若い選手にやられても走り続ける『カズさん』がとてもカッコよく、そして一番尊敬できる存在になりました。

僕も50歳を過ぎ、人生のハーフタイムが過ぎ、後半戦に突入したと思うので、そんな『カズさん』のように自分の想いを貫ける人生を送りたいと思う今日この頃でした。

あっ、こっちの『カズさん』もサーフィン続けて下さい(笑)

				<h1>超高密度ナノバブル</h1>		
<h2>水が変わる!</h2>		<h2>収穫物が変わる!</h2>		<h2>農業が変わる!</h2>		
<p>ナノバブルが十分な酸素を土壌へ供給し、作物に活力をもたらします!</p>		<p>作物の肥料吸収率を高め、成長を促進し、高収益な農業を後押しします!</p>		<p>収益が向上し、農業経営が安定! 新しい農業へと導きます!</p>		
<p> 東栄管機株式会社 お問い合わせ：仙台支店 TEL：022-387-6991/FAX：022-387-1577</p>						

編集歳時記

(2026年新春号No517)

宮城にも、ようやく春の兆しが見えはじめる頃。冷たい空気のなかにふっと混じる柔らかな温度に、季節の移り変わりをを感じるように、私は一つの節目として宮城県管工業協同組合青年部の卒業を迎えることとなります。思い返せば、青年部で過ごした季節は、どれも鮮やかで、気づけば日々が心の風景として積み重なっています。

活動の中では、いくつかの事業で委員長を仰せつかり、仲間とともに企画を練り、調整し、ときに悩みながら前へ進んできました。責任を任されることの重みと喜び、そして仲間の支えに気づく瞬間の尊さは、今となっては大切な学びとして胸に残っています。意見を交わし合った会議室の空気も、委員会が無事成功した帰り道の空も、すべてがかけがえのない記憶です。

そして、卒業を迎えるにあたり実現した福岡への卒業旅行。空港に向かう道のりから既に笑い声が絶えず、到着した福岡では、おいしい食とにぎやかな街並みに自然と心がほぐれました。料理を囲みながら語り合った時間、歴史ある街角を歩きながら感じた旅の風、そして「ここまで来たんだな」と静かに実感する瞬間、どれも卒業という節目にふさわしい、温かい彩りを添えてくれました。

青年部で過ごした日々は、まるで四季のようでした。春には新たな仲間との出会いに胸を弾ませ、夏には現場で流した汗に励まされ、秋には活動や行事を通じて地域とのつながりを感じ、冬には厳しい寒さのなかでも互いに支え合いながら前へ進んできました。そのすべてが、気づけば自分を形づくる大切な季節となっています。

卒業と聞くと、どこか区切りのようにも感じますが、不思議と胸に広がるのは別れの寂しさよりも、「次の季節へ向かう」という静かな前向きさです。青年部で学んだこと、出会った人たちとのご縁、経験から得た自信と謙虚さ、それらを胸に、また新しい季節を迎えていきたいと思います。

これまで共に歩んできた青年部の皆さんへ。笑い合い、ときに支え合い、そしてそれぞれの立場で頑張ってきた仲間がいたからこそ、今日の自分があります。心からの感謝を込めて、この場をお借りして卒業のごあいさつを記します。「本当にありがとうございました。そして、これからもどうぞよろしくお願いいたします」

広報委員

金来 和広 (株)ユーワ技研)



クロダイトの
迂回ユニット

あらゆる局面に対応する
GX形 B・Bユニット

少ない資材、少ない継手数で多種多様な障害物を迂回します。



ロングベンド

ニーズに技術で応える

株式会社 クロダイト
URL <http://www.kurodite.co.jp/>

仙台営業所 仙台市若林区卸町1-6-15 (郡町セントラルビル)
〒984-0015 電話 (022) 283-5959

営業本部 愛知県高浜市八幡町1丁目1番地1
〒444-1302 電話 (0566) 53-0901



用途に合わせて選べる **TAK** の水道管シリーズ

製造、販売

- | | | |
|--------------------|-----------------|---------------|
| ●ステンレスプレファブ鋼管 | ●鋼管プレファブ管 | ●伸縮可撓継手 |
| ●硬質塩化ビニルライニング鋼管 | ●水輸送用塗覆装鋼管 | ●スネークジョイント |
| ●耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管 | ●水道用ポリウレタン塗覆装鋼管 | ●フッ素樹脂ライニング鋼管 |
| ●ポリエチレン粉体ライニング鋼管 | ●集合住宅給水システム | ●特殊ダクト |
| ●ナイロンコーティング鋼管 | ●銅管継手・銅製プレファブ管 | |

株式会社 **多久製作所**

アクア・プラントカンパニー 東日本水道営業統括部 東北グループ

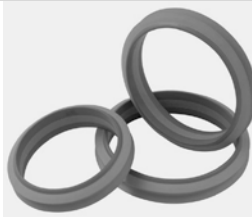
〒984-0032 宮城県仙台市若林区荒井四丁目 26 番地 2 TEL.(022)288-2161 FAX.(022)288-2164

<http://www.tak-ss.co.jp/>

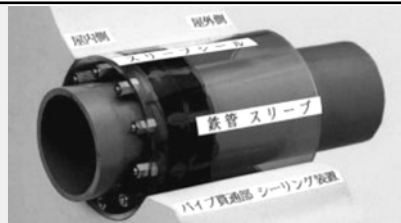
アカギ式 配管支持金具



ハヤツリ



止水A-リング



スリーブシール



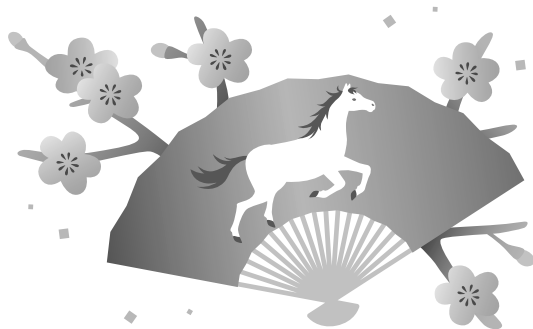
配管支持金具の

株式会社 **アカギ**

仙台営業所／〒984-0002 仙台市若林区卸町東4-1-19 TEL022-287-7311

本社／〒104-8251 東京都中央区入船2-1-1 TEL03-3552-7331

支店・営業所／全国主要都市



編集・発行

本年も誌面の充実に努めて参りますので、ご寄稿と
ご愛読下さいますよう心よりお願い申し上げます。

宮城県管工業協同組合 第47期 広報委員会

委員長	小野修司	(全栄興業(株))	代表取締役
副委員長	大浦明	(株)仙塩管工事センター	代表取締役
委員	佐藤健	(佐静建設(株))	代表取締役
委員	金来和広	(株)ユーワ技研	代表取締役
委員	坪田映二	(坪田工業(株))	代表取締役
委員	大友進	(東水工業(株))	代表取締役
委員	石川渡	(株)いづみ衛生施設工業	代表取締役

専務理事 吉田秀之
理事 堀政信